

(受地福6-4)

宇治市総合福祉会館キュービクル改修工事

電気設備設計図					建築設計図			
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
E - 0 0	表紙・図面リスト	———	E - 1 4	部分詳細図	1 / 1 0 0	A - 0 1	建築改修工事特記仕様書 1	———
E - 0 1	共通特記仕様書	———	E - 1 5	幹線設備 改修系統図	———	A - 0 2	建築改修工事特記仕様書 2	———
E - 0 2	電気設備工事特記仕様書 - 1	———	E - 1 6	幹線設備 1階 (参考図)	1 / 1 0 0	A - 0 3	建築改修工事特記仕様書 3	———
E - 0 3	電気設備工事特記仕様書 - 2	———	E - 1 7	幹線設備 2階 (参考図)	1 / 1 0 0	A - 0 4	建築改修工事特記仕様書 4	———
E - 0 4	電気設備工事特記仕様書 - 3	———	E - 1 8	幹線設備 3階 (参考図)	1 / 1 0 0	A - 0 5	建築改修工事特記仕様書 5	———
E - 0 5	付近見取図・配置図、仮設計画図	1 / 3 0 0・1 / 2 5 0 0				A - 0 6	外構図 (改修)	1 / 5 0
E - 0 6	キュービクル 改修結線図	———				A - 0 7	外構図 (撤去)	1 / 5 0
E - 0 7	キュービクル 撤去結線図	———				A - 0 8	外構各部詳細図	図示
E - 0 8	発電機 仕様書	———						
E - 0 9	設備ヤード 幹線動力設備 改修図	1 / 5 0						
E - 1 0	設備ヤード 幹線動力設備 撤去図	1 / 5 0						
E - 1 1	設備ヤード 幹線動力設備 仮設配線図	1 / 5 0						
E - 1 2	北面立面図・断面図 (改修)	1 / 1 0 0 1 / 5 0						
E - 1 3	西面立面図 (撤去)	1 / 1 0 0						

電気設備工事特記仕様書-2

章	項目	特記事項				
電力貯蔵設備	工事範囲	配管	配線	機器取付		
	直流電源装置	用途 その他	建築基準法用 過放電防止保護装置	消防法用 直流不足電圧継電器	受変電設備専用 の設定電圧は、90Vとする。	
	交流無停電電源装置 (UPS)	用途 方式	(一般形)	簡易形		
発電機	形式	オープン形	簡易形	キュービクル		
	連続運転可能時間	10時間(乙)	72時間(甲)			
	発電機	電気方式 電圧 定格出力	三相3線式 210V 25kVA以上	6.6kV 力率0.8	415V	
	原動機	種別	ガスタービン マイクロガスタービン	ディーゼル機関 燃料電池	ガスエンジン コージェネレーション	
		定格出力	kW(PS)以上			
		始動方式	電気式	空気式		
		冷却方式	ラジエーター式	水槽循環式		
		現地負荷試験	行う	行わない		
	燃料	種類	軽油	灯油	ガス()	
		燃料小出槽 主燃料槽	% %			
監視方式	監視方式	警報盤による代表監視	中央監視盤による監視			
	太陽光発電装置	太陽電池 アレイ 設置可能建築面積	公称最大出力 kW以上 m2以下(長辺 m x 短辺 m)			
		系統連系	受動	能動		
		パワーコンディショナ出力	相	線式	V kW以上	
		逆潮流	有	無		
		交流出力電圧	100V	200V		
		出力電気方式	三相3線式	単相3線式	単相2線式	
	外部移報	有	無			
	通信網設備	工事範囲	配管	配線	機器取付	
		施工方法	金属管配線	ケーブル配線	合成樹脂管配線	
構内交換設備	工事範囲	〇配管	〇配線	〇機器取付		
	保安器用接地	本工事	別途工事			
情報表示設備	形式	電子交換機	ボタン電話装置			
	工事種類	マルチサイン装置	出退表示設備	時刻表示設備		
	工事範囲	配管	配線	機器取付		
映像音響	親時計及び付属装置	CR-PM プログラムタイマ(カード式)	CW-PM キー式			
	子時計	特記なきものは	SWA33-GPB2			
拡声設備	工事範囲	〇配管	〇配線	〇機器取付		
	〇増幅器	用途	〇全館放送用(一般放送 〇非常放送)	ローカル放送用		
誘導支援設備	〇スピーカー	特記なきものは	SC6H1-1V3-M			
	〇工事範囲	〇配管	〇配線	〇機器取付		
	〇工事内容	音声誘導装置	検出方式(磁気式 無線式 画像認識)			
テレビ共同受信設備	〇インターホン	電話式	〇相互式			
	テレビインターホン	親機に子機カメラ角度調整機能(上下)を設ける。				
	〇トイレ等呼出し装置	1窓	3窓	5窓	〇15窓	
		呼出しボタン	壁付ボタン(プルスイッチの長さは0.2m程度とする)	壁付握りボタン(握りボタンの長さは1.2m程度とする)		
		通話機能				
		受付呼出し装置	誘導音			
	〇工事範囲	配管	〇配線	〇機器取付		
	アンテナ	UHF用 AM用	B5用 FM用	C5用 CATV		
	アンテナマスト	壁面取付形 配管用ステンレス鋼管	自立形 一般構造用炭素鋼管(溶融亜鉛メッキ仕上げ)	自立形 圧力配管用炭素鋼管(溶融亜鉛メッキ仕上げ)		
	電界強度測定	電界強度及び画質は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。測定チャンネルは、監督職員と協議する。				

章	項目	特記事項			
監視カメラ	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	画像	カラー	白黒		
	伝送方式	ネットワーク伝送方式	デジタル同軸伝送方式	〇	
管制設備	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	車両検出方式	ループコイル方式	光線方式		
防犯・入退室管理設備	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	工事種類	機械警備用配管 防犯装置	入室管理制御装置		
火災報知設備	自動火災報知装置	工事範囲	配管	配線	機器取付
		受信機	P形	1級	15回線
		壁掛形	自立形		
		単独形	複合形		
		副受信機	窓		
		光警報装置	盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。		
		消火ポンプ始動	消火栓箱内押ボタン 発信機と連動(総合盤に始動表示灯を設ける。)		
		機器収容箱	消火栓一体形	単独形	
	自動閉鎖装置	工事範囲	配管	配線	機器取付
		運動制御器	回線	【予備電源(蓄電池)内蔵】 単独 自火報受信機と一体	
自動閉鎖装置	防火戸用【DC24V 0.6A以下電磁式またはラッチ式】 防煙ダンパ用 【別途工事 即時通電式又は電動式 DC24V 0.6A以下 遠方復帰機構(電動式) DC24V 0.7A以下】				
防火シャッター用 【別途工事 DC24V 0.6A以下】					
非常警報装置	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	電気方式	DC24V			
	電源装置	非常電源(蓄電池)	自動火災報知設備と兼用		
ガス漏れ火災警報装置	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	受信機	単独形	自火報受信機と一体		
	ガスの種類	都市ガス(13A)	液化石油ガス		
諸警報表示	受信機に諸警報表示窓(窓)を設ける。				
制中央監視	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	監視方式	警報盤	監視制御装置		
医療関係設備	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	非接地電源用分電盤	キャビネット	鋼製	ステンレス製	
	ナースコール装置	トイレ及び浴室等の 呼出押ボタン	有線式 防滴	無線式 防湿	
	その他	オプション等の試験は、監督職員の指示による。			
	工事範囲	配管	配線	機器取付	
構内配線	電気方式	高圧 低圧	三相3線式 三相3線式 単相3線式 単2線式	6kV 200V 100/200V (100V 200V)	
	ふ設方式	地中線	管路式	波付硬質合成樹脂管(FEP) ポリエチレン被覆管(PLP)	
		埋設深さ	特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装下面) から300mm以上とする。		
		架空線	電柱	遠心カプリレストレストコンクリートポール	
	区分開閉器	高圧負荷開閉器	7.2kV 200A		
		用途	架空引込用	地中引込用	
		構	耐中塩じん用	耐重塩じん用	
		形式	引外し装置付き(SOG形)	引外し装置なし 避雷器内蔵	
	マンホール及び ハンドホール	構造・寸法	標準図による		
		蓋の文字	蓋の用途表示は電力とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。		
高圧ケーブル	屋外に使用する高圧ケーブルはEM-高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル(3層押出型)」に(よる 〇よらない)				
余長	高圧ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で3m余長をとる。				
端子、高圧ケーブル 端末処理	一般用	耐塩用	重耐塩用		
避雷器	屋外形	耐塩形			
装柱材	一般用	耐塩形			
外灯	基礎	本工事	別途工事		
	外灯ポールの材質が鋼製(SPC)の場合で特記がない場合は溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。				
構内通信線路	工事範囲	配管	配線	機器取付	
	ふ設方式	地中線	管路式	波付硬質合成樹脂管(FEP) ポリエチレン被覆管(PLP)	
	埋設深さ	特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装(表層)下面) から300mm以上とする。			
	架空線	電柱	遠心カプリレストレストコンクリートポール		
マンホール及び ハンドホール	構造・寸法	標準図による			
	蓋の文字	蓋の用途表示は通信とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。			

章	項目	特記事項			
電波障害調査	調査範囲	測定のみ	対策工事実施設計書作成まで		
	測定時期	工事前	工事中	完成後	
	測定箇所 測定内容	箇所	受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。		

別表 付属品・予備品

イージーキャビネット	箱	キーボックス	テスター	マンホールフック
工具箱(ドライバー、モンキーレンチ、組スパナ、ハンマー)				
受変電設備・盤	ランプ及びヒューズの予備品は、20%とする。			

試験・検査一覧

工事完成に際しては、各種試験、検査に合格の責任を持つ。
検査及び試験を行うべき機材等は標準仕様書による他下記の項目とする。
受変電機器 動力盤及び電灯盤 耐圧試験 絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 機器機能試験 その他監督職員の指示するもの
工事着手に際し、事前に必要な機器(照明機器、空調機器、放送設備等)の機能確認を行い、確認結果報告書を提出する。
〇工事着手前に既設照明器具で床面照度を測定し、完成後の照度と比較する。(照度測定箇所は監督職員の指示する箇所とする。)
着工前・工事完成後、空調機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。
着工前・工事完成後、放送機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。
〇後施工アンカの施工確認試験(引張試験機による引張試験)は、1日の施工本数の3%以上かつ3本以上とする。
例 盤・ケ-ブルラック・ケ-ブルダクト等

その他

試験機器類の校正記録を提出する。
停電工事の必要な時は、当該高圧受変電設備の電気主任技術者と協議し、打合せ記録を提出する。
尚、電気主任技術者の立会費用は本工事に含む。
工事に係る申請手続き費、消防設備竣工検査費、高圧電気設備検査等の竣工に必要な費用は本工事に含む。
分電盤等の端子接続部施工管理手順は、電気設備工事監理指針(令和4年度版)の資料5(P1119)に基づき施工する。
鉄筋コンクリ-トをダイヤモンドドリル等で貫通する時は、鉄筋探査機で開口位置を確認する。
なお、鉄筋探査については報告書を提出すること。部数については監督職員と協議する。
整備不良の電動工具等持ち込まない。
構外搬出適切な処分とする(電線、電線管、器具、管球等報告書を提出する)。
交通誘導員は大型機器搬入時及び監督職員が必要と指示した時は、安全確保のため交通誘導員を2名以上配置する。
カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。
既設メーカーについて 冷水水発生機:矢崎ビシラ株式会社 Ⅱバー:日本Ⅱバー

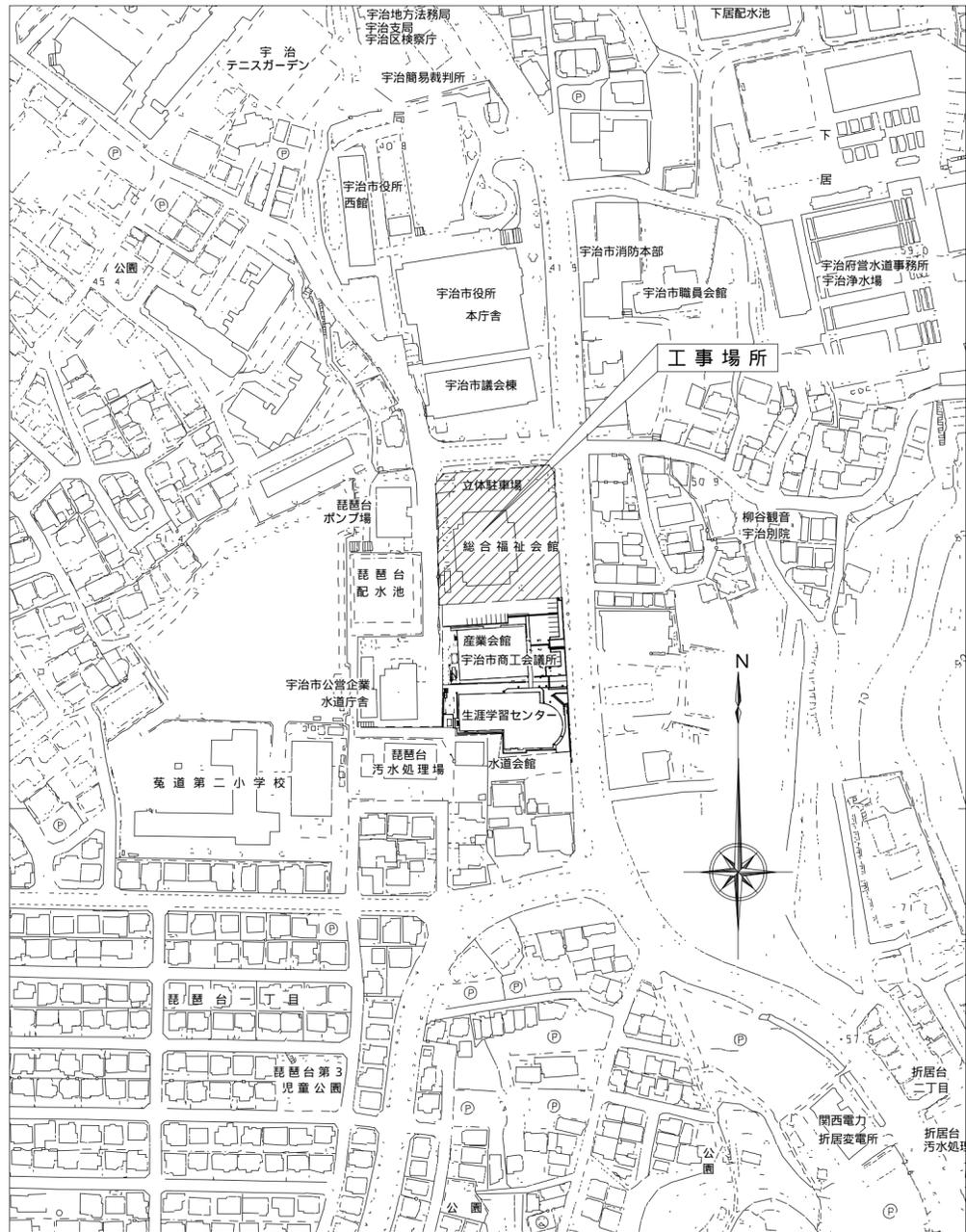
機器取付高さ(参考寸法の為、盤の寸法・取付位置は監督員と協議する。)

	名称	測点	取付高(mm)		名称	測点	取付高(mm)	
電力共通	取引用計器	地上~上端	2,000	電	端子盤	床上~上端	1,900	
	引込開閉器	〃	1,800		保安器函	天井下~上端	200	
動力	壁掛型制御盤	床上~上端	1,900		話	壁付位置ボックス	床上~中心	300
	手元開閉器	床上~中心	1,500	〃(和室)		〃	150	
	操作スイッチ	〃	1,300	拡声、時計	壁掛スピーカ	天井下~上端	200	
					アッチネーター	床上~中心	1,300	
			壁掛型親時計		床上~上端	1,900		
電灯	分電盤	床上~上端	1,900	時計	子時計	天井下~上端	200	
	スイッチ(一般)	床上~中心	1,300		インターホン	壁掛インターホン	床上~中心	1,500
	〃(身障者便所)	〃	900	〃(身障者)		〃	1,100	
	コンセント(一般)	〃	300	壁付位置ボックス		〃	300	
	〃(和室)	〃	150	〃(和室)		〃	150	
	〃(台上)	台上~中心	300					
	〃(土間)	床上~中心	1,300	テレビ共聴		機器収納函	天井下~上端	200
	ブラケット(一般)	〃	2,100			直列ユニット	床上~中心	300
	〃(踊場)	〃	2,500	〃(和室)		〃	150	
	〃(鏡上)	鏡上端~中心	150					

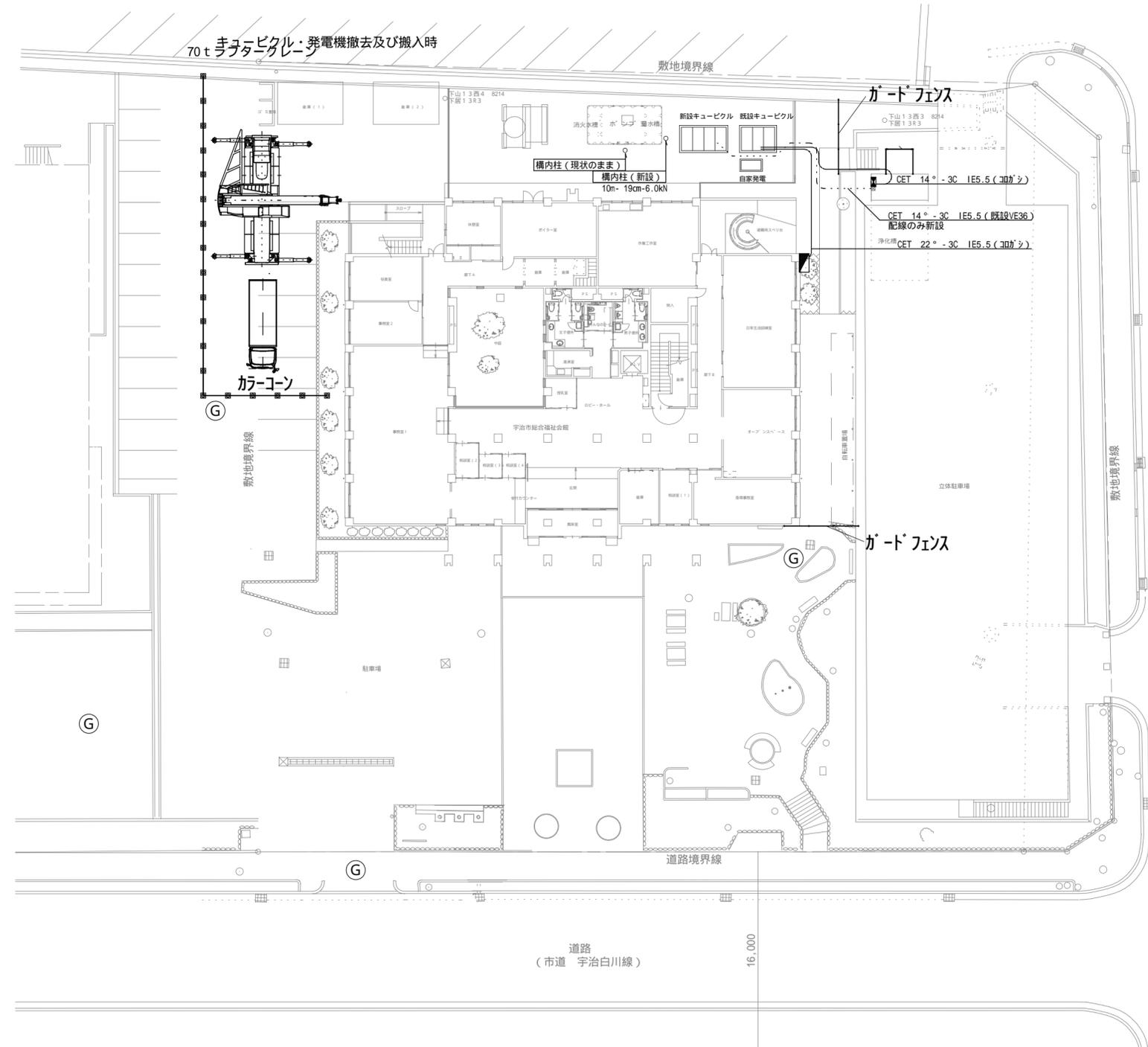
アスベスト対策工事仕様書

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																																																																
⑬	①	適用範囲 (9.1.1)	アスベストを重量で0.1%を超えて含有する、アスベスト含有建材の除去工事に適用する。 アスベスト含有吹付け材除去工事 除去工法 () 封じ込め工法 () 囲い込み工法 () アスベスト含有保温材等除去工事 アスベスト含有成形板除去工事	⑬	5 仕上げ工事 (9.1.1)	アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 図示による	⑬	⑨	アスベスト含有保温材等の除去 (9.1.4)	除去を行う範囲 図示による	除去の方法 原形のまま手ばらし 手ばらし以外（この場合は改修標仕9.1.3(a)による隔離とする）	⑬	10	アスベスト含有成形板の除去 (9.1.5)	除去を行う範囲 図示による	除去の方法 湿潤化したのちに手ばらし 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破砕	⑬	アスベスト対策工事	⑬	アスベスト対策工事	除去を行うアスベスト含有成形板の仕様 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>厚 (mm)</th> <th>種</th> <th>類</th> <th>厚 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石綿保温材</td> <td>石綿含有耐火被膜材</td> <td></td> <td>石綿含有ビニル床タイル</td> <td></td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>石綿含有けいそう土保温材</td> <td>石綿含有けい酸カルシウム板第二種</td> <td></td> <td>石綿含有ポリスチレン板</td> <td>石綿セメントけい酸加がら板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有パーライト保温材</td> <td>層根用折板裏断熱材</td> <td></td> <td>石綿含有押出成形セメント板</td> <td>化粧石綿セメントけい酸加がら板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有けい酸カルシウム保温材</td> <td>煙突用断熱材</td> <td></td> <td>石綿含有岩綿吸音天井板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有水練り保温材</td> <td>塩基性炭酸マグネシウム保温材</td> <td></td> <td>石綿含有石膏ボード</td> <td>9.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種	類	厚 (mm)	種	類	厚 (mm)	石綿保温材	石綿含有耐火被膜材		石綿含有ビニル床タイル		2.0	石綿含有けいそう土保温材	石綿含有けい酸カルシウム板第二種		石綿含有ポリスチレン板	石綿セメントけい酸加がら板		石綿含有パーライト保温材	層根用折板裏断熱材		石綿含有押出成形セメント板	化粧石綿セメントけい酸加がら板		石綿含有けい酸カルシウム保温材	煙突用断熱材		石綿含有岩綿吸音天井板			石綿含有水練り保温材	塩基性炭酸マグネシウム保温材		石綿含有石膏ボード	9.5																												
		種																				類	厚 (mm)	種	類	厚 (mm)																																																										
石綿保温材	石綿含有耐火被膜材		石綿含有ビニル床タイル		2.0																																																																															
石綿含有けいそう土保温材	石綿含有けい酸カルシウム板第二種		石綿含有ポリスチレン板	石綿セメントけい酸加がら板																																																																																
石綿含有パーライト保温材	層根用折板裏断熱材		石綿含有押出成形セメント板	化粧石綿セメントけい酸加がら板																																																																																
石綿含有けい酸カルシウム保温材	煙突用断熱材		石綿含有岩綿吸音天井板																																																																																	
石綿含有水練り保温材	塩基性炭酸マグネシウム保温材		石綿含有石膏ボード	9.5																																																																																
2 法令等の遵守	<p>施工にあたっては、「大気汚染防止法（昭和43年法律97号）」「労働安全衛生法（昭和47年法律57号）」「石綿障害予防規則（平成17年厚生労働省令21号）」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）」「建築基準法（昭和25年法律201号）」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）（平成12年法律104号）」「京都府建築物の解体等に伴う石綿の飛散防止に関する緊急措置条例（平成17年京都府条例45号）」等、石綿除去に関する諸法令に基づき適正に作業を行う。諸法令の適用及び運用は、受注者の負担と責任において行う。ただし、当該工事に関係のない事項は適用しない。</p> <p>事前調査 ・施工計画に先立ち、改正大気汚染防止法第18条の17の規定により、特定工事に該当するか否かの調査を行う。 調査結果について発注者に書面を交付して説明を行い、調査結果その他環境省令で定める事項を、公衆に見やすいように掲示し、その写しを工事の現場に備え置く。 なお、特定工事に該当する場合は、「特定粉じん排出等作業実施届出書」の届出内容について発注者に書面を交付して説明を行う。 ・施工計画に先立ち、石綿障害予防規則第3条の規定により、アスベスト含有建材の有無を調査する。 調査結果を記録し、作業に従事する労働者が見やすいように掲示する。</p> <p>事前調査は、国土交通省に登録された機関が行う講習を修了した建築物石綿含有建材調査者、石綿作業主任者技能講習修了者、日本アスベスト調査診断協会に登録されたアスベスト診断士等が行い、資格証明書等の写しを監督職員に提出する。</p> <p>調査範囲 図示による _____ 調査事項 石綿使用部位の確認 石綿層の厚さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 更衣施設等の仮設計画 廃棄物等の搬出方法</p> <p>アスベスト含有分析 行う（分析結果を監督職員に提出する） <table border="1"> <thead> <tr> <th>材</th> <th>料</th> <th>名</th> <th>定性分析方法</th> <th>定量分析方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(箇所数)</td> <td>(箇所数)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(箇所数)</td> <td>(箇所数)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(箇所数)</td> <td>(箇所数)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(箇所数)</td> <td>(箇所数)</td> </tr> </tbody> </table> サンプル数 1 箇所あたり 3 サンプル JIS A 1481に基づくこと。 行わない</p> <p>既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 あり なし</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定 行う <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点(各施工箇所ごと)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">除去作業前</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点 2点 3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>調査対象室外部付近</td> <td>1点 2点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">除去作業中</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点 2点 3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>負圧粉じん装置の排出吹き出し口</td> <td>各</td> <td>1点 2点 3点</td> </tr> <tr> <td>除去作業室外</td> <td>1点 2点 3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>除去作業後</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点 2点</td> <td>点 ｼｰﾄ養生中</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">除去作業後</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点 2点 3点</td> <td>点 ｼｰﾄ撤去後</td> </tr> <tr> <td>調査対象室外部付近</td> <td>1点 2点</td> <td>点 1週間以降</td> </tr> </tbody> </table> 周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 行わない</p> <p>測定機関 (公社) 日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。</p> <p>報告書提出部数 3部 部</p>	材	料	名	定性分析方法	定量分析方法				(箇所数)	(箇所数)				(箇所数)	(箇所数)				(箇所数)	(箇所数)				(箇所数)	(箇所数)	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備 考	除去作業前	除去作業室内	1点 2点 3点	点	調査対象室外部付近	1点 2点	点	除去作業中	除去作業室内	1点 2点 3点	点	負圧粉じん装置の排出吹き出し口	各	1点 2点 3点	除去作業室外	1点 2点 3点	点	除去作業後	除去作業室内	1点 2点	点 ｼｰﾄ養生中	除去作業後	除去作業室内	1点 2点 3点	点 ｼｰﾄ撤去後	調査対象室外部付近	1点 2点	点 1週間以降	6 石綿作業主任者 (9.1.2)	石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者または平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。	7 特別管理産業廃棄物管理責任者 (9.1.2)	特別管理産業廃棄物管理責任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。ただし、アスベスト含有成形板の除去工事を除く。	8 アスベスト含有吹付け材の除去 (9.1.3)	<p>施工業者 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出する。 「吹付アスベスト粉じん飛散防止処理技術」について(一財)日本建築センターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。</p> <p>除去を行う範囲 図示による（仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認） 全ての室</p> <p>除去工法 改修標仕9.1.3(b)(1)による</p> <p>除去を行うアスベスト含有吹付け材の仕様 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種</th> <th>類</th> <th>種</th> <th>類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吹付け石綿</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有吹付けロックウール</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有吹付けひる石</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有吹付けパーライト</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </p> <p>除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 湿潤化 セメント固化 溶融固化</p> <p>除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることを表示を行う。</p> <p>除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律（昭和45年法律137号）の規定を遵守して行う。 特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地（（株）京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431） なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。</p>	種	類	種	類	吹付け石綿				石綿含有吹付けロックウール				石綿含有吹付けひる石				石綿含有吹付けパーライト			
材	料	名	定性分析方法	定量分析方法																																																																																
			(箇所数)	(箇所数)																																																																																
			(箇所数)	(箇所数)																																																																																
			(箇所数)	(箇所数)																																																																																
			(箇所数)	(箇所数)																																																																																
測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備 考																																																																																	
除去作業前	除去作業室内	1点 2点 3点	点																																																																																	
	調査対象室外部付近	1点 2点	点																																																																																	
除去作業中	除去作業室内	1点 2点 3点	点																																																																																	
	負圧粉じん装置の排出吹き出し口	各	1点 2点 3点																																																																																	
	除去作業室外	1点 2点 3点	点																																																																																	
	除去作業後	除去作業室内	1点 2点	点 ｼｰﾄ養生中																																																																																
除去作業後	除去作業室内	1点 2点 3点	点 ｼｰﾄ撤去後																																																																																	
	調査対象室外部付近	1点 2点	点 1週間以降																																																																																	
種	類	種	類																																																																																	
吹付け石綿																																																																																				
石綿含有吹付けロックウール																																																																																				
石綿含有吹付けひる石																																																																																				
石綿含有吹付けパーライト																																																																																				
4	アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1)																																																																																			

記	事		<p style="text-align: center;">株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎</p>	校閲		主査		工事名称 宇治市総合福祉会館キュービクル改修工事	作成年月日 R06.03 縮 尺 -	図面番号 E - 04
				担当	担当	担当	担当			



付近見取図 S: 1 / 2 5 0 0 工事対象敷地を示す

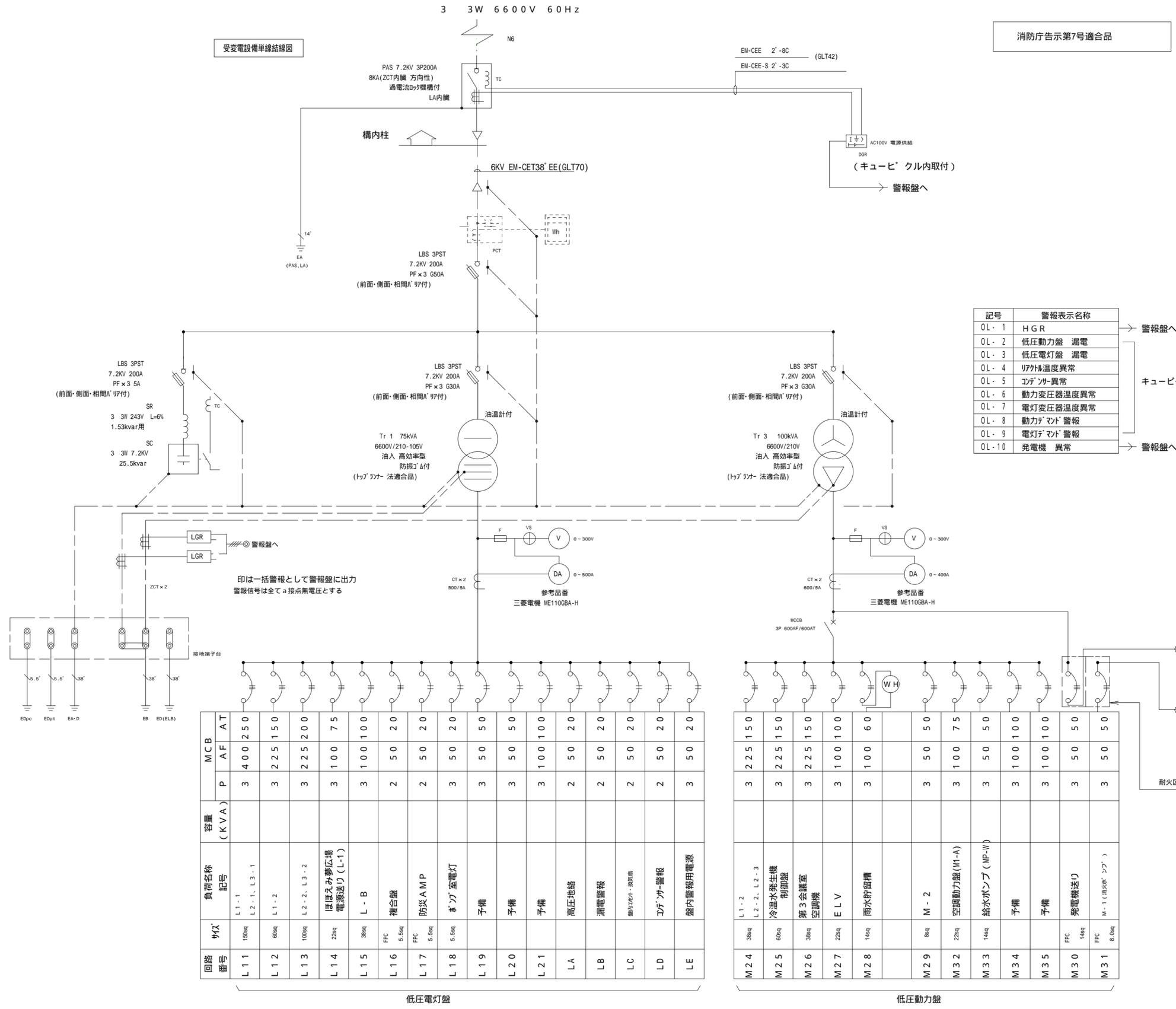


配置図 S: 1 / 3 0 0

凡例	
—	ガードフェンスH=1.8m、下部幅木板設置共
ⓐ	交通誘導警備員スポット
—	ガラコーン

記 事		株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館キュービクル改修工事	作成年月日	図面番号 E - 0 5
			担当	担当		担当	
図面名称 付近見取図・配置図、仮設計画図						1 / 3 0 0 ・ 1 / 2 5 0 0	

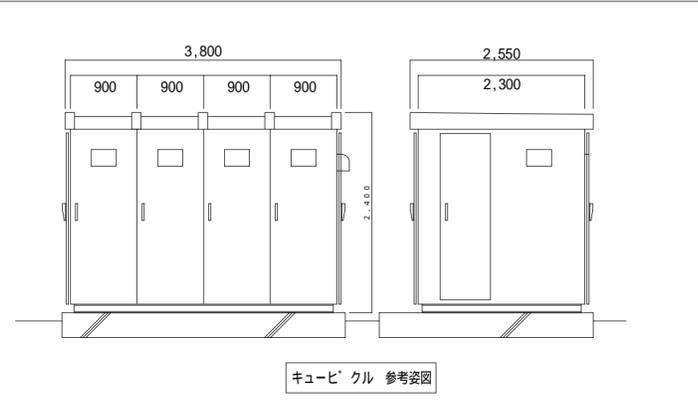
受変電設備単線結線図



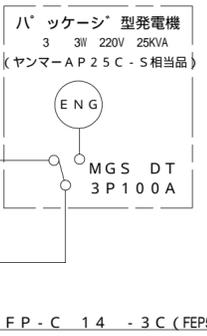
回路番号	WVA	負荷名称 記号	容量 (KVA)	MCB		
				P	AF	AT
L11	150sq	L1-1	3	400	250	
L12	60sq	L2-1, L3-1	3	225	150	
L13	100sq	L1-2	3	225	200	
L14	22sq	L2-2, L3-2	3	100	75	
L15	38sq	ほほえみ夢広場 電源送り (L-1)	3	100	100	
L16	5.5sq	L-B	2	50	20	
L17	5.5sq	複合盤	2	50	20	
L18	5.5sq	防災AMP	3	50	20	
L19	5.5sq	ボウ電燈	3	50	50	
L20		予備	3	50	50	
L21		予備	3	100	100	
LA		予備	2	50	20	
LB		予備	2	50	20	
LC		予備	2	50	20	
LD		予備	2	50	20	
LE		予備	3	50	20	

M24	38sq	L1-2	3	225	150	
M25	60sq	L2-2, L2-3	3	225	150	
M26	38sq	冷水発生機 制御盤	3	225	150	
M27	22sq	第3会議室 空調機	3	100	100	
M28	14sq	ELV	3	100	60	
M29	8sq	雨水貯留槽	3	50	50	
M32	22sq	M-2	3	100	75	
M33	14sq	空調動力盤 (M-A)	3	50	50	
M34		給水ポンプ (MP-II)	3	100	100	
M35		予備	3	100	100	
M30	14sq	予備	3	50	50	
M31	8.0sq	発電機送り	3	50	50	

消防庁告示第7号適合品

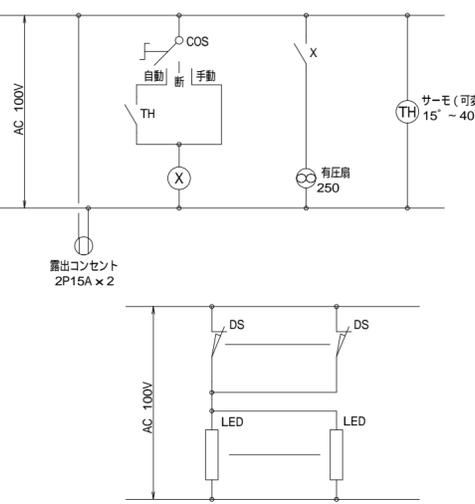


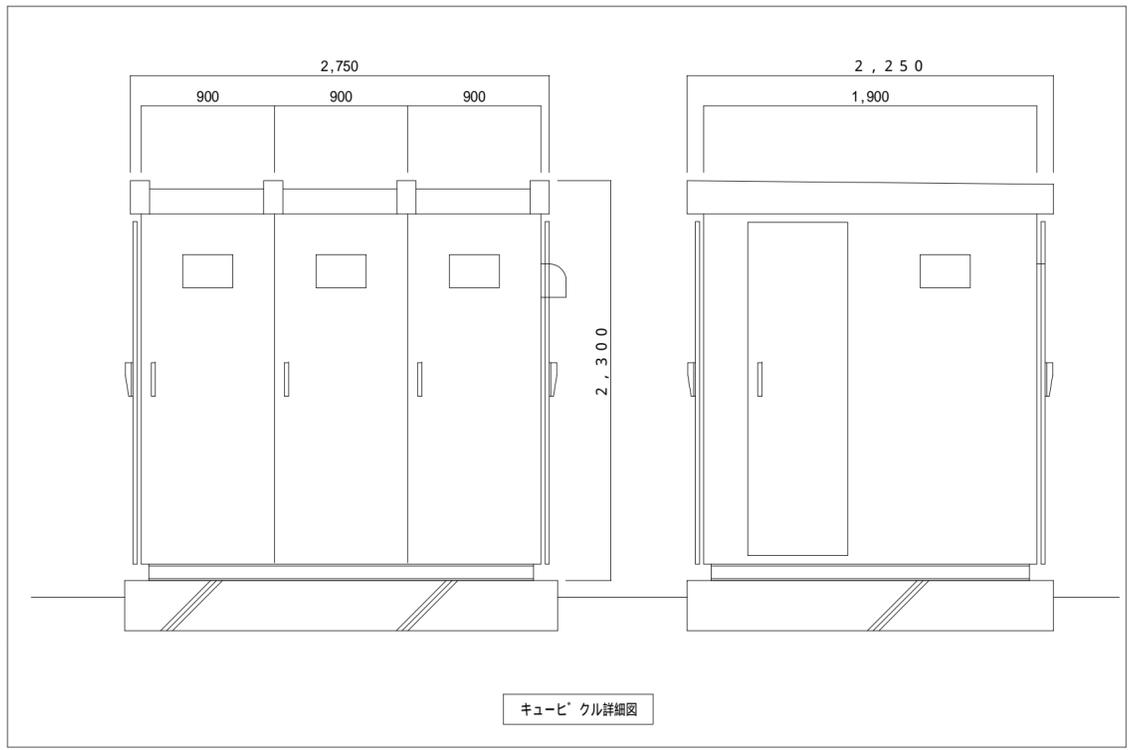
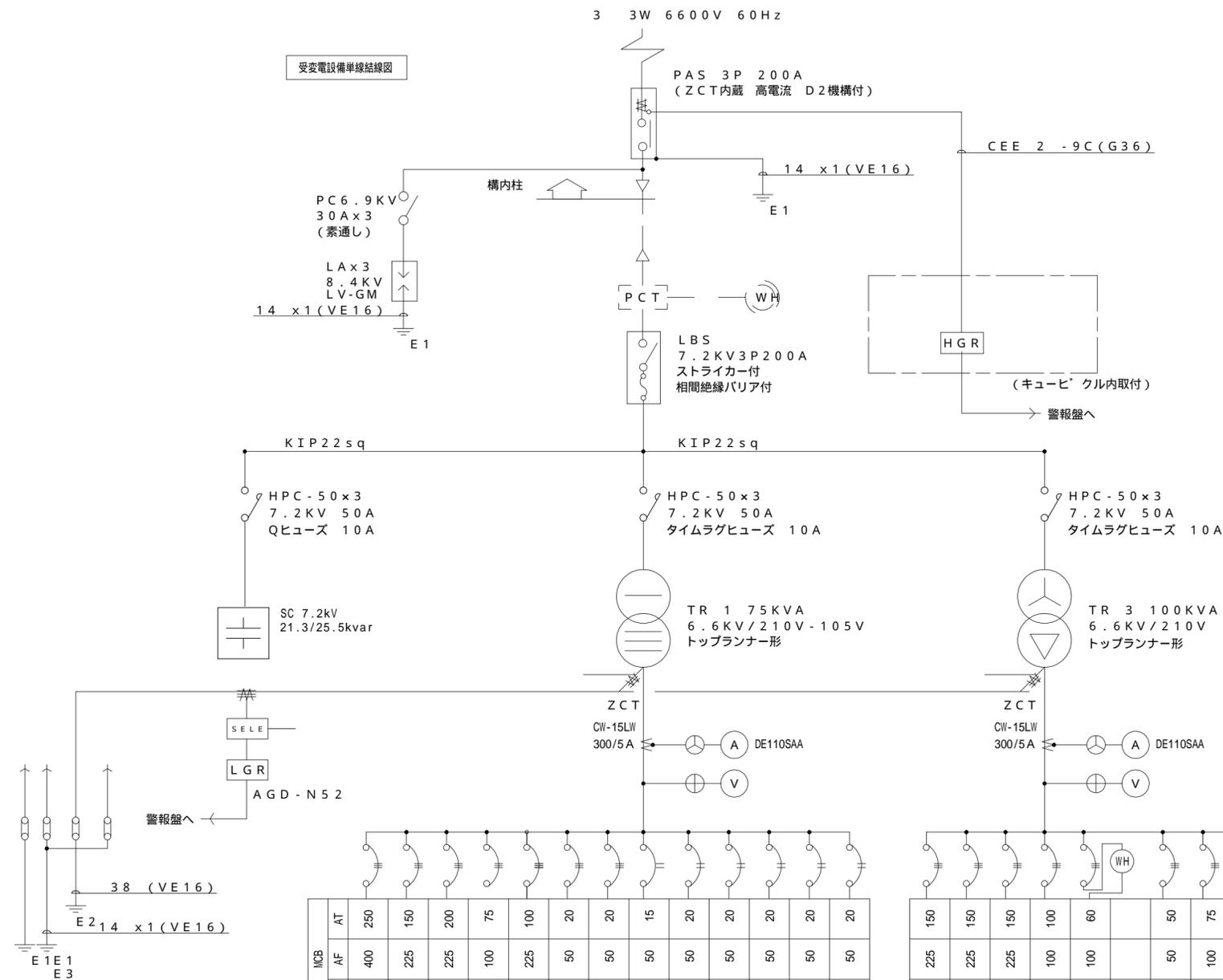
記号	警報表示名称	警報盤へ	
OL-1	HGR	→ 警報盤へ	
OL-2	低圧動力盤 漏電	→ キュービクル異常とし警報盤へ一括警報とする。	
OL-3	低圧電灯盤 漏電		
OL-4	リフト温度異常		
OL-5	コンデナ異常		
OL-6	動力変圧器温度異常		
OL-7	電灯変圧器温度異常		
OL-8	動力デマンド警報		
OL-9	電灯デマンド警報		
OL-10	発電機 異常		→ 警報盤へ



注記事項

- 機器類は全て広角型、VT・CTはモールド型とする。
- 電流計（低圧用）はデジタルデマンドメータを使用する。
- 分岐回路用ブレーカは全て埋込型フラッシュプレート付とする。
- 特記箇所を除き、低圧盤裏面は銅帯付にて製作する。
- 特記箇所を除く低圧回路で一般配線を使用する箇所は耐熱電線（HIE）を使用する。
- B種接地抵抗値は関西電力協議値とする。
- キュービクルは全扉底板付とする。（ケーブル立ち上り箇所は鉄板2分割とする。）
- キュービクルは内面、外面共指定色焼付け塗装仕上げとする。
全盤（指定色：2.519/2）
- キュービクル架台チャンネルは滑触面組メッキ品とする。
- 低圧配電盤の裏面に負荷側引出用端子を設ける。
- キュービクルの寸法は参考とし、特記に寸法は取付けMCBにて検討し製作する。
- 回路名称銘板の仕様：材質アクリル樹脂製、地色：白色、文字：裏面より彫刻後黒色塗料充填、字体：丸ゴシック、ピス止めとする。
- キュービクル内安全通路部分には絶縁マットを敷設すること。
- LBSはストライク機構、安全ロック機構、前面・側面バリア付とする。
- 扉表面に危険物表示板を取り付ける。
- 予備として電力ヒューズを種別・容量毎1組納入する。
- 消火器（ABC10型）及び回収箱（25kg型）を納入する。
- キュービクル式受変電設備の製作完了時、工場立会い検査を実施する。
- 各盤内LED照明付とし、扉の開閉により点滅する。
- 工事にあたっては指定の電気主任技術者と協議の上で行う。費用含む。
- 電力会社、所轄消防署への申請を行うこと。費用含む。
- 基礎に接地極標示板 縦型 国土交通省型を設置する。
- 高圧地絡および、低圧一括地絡警報は事務室警報盤にて発報とする。
- 高圧引込ケーブルは耐水トリレー性に優れた3層押出型とし、端未処理を新設し接続する。
- 既設2次低圧幹線ケーブルは、新設低圧配電盤端子台に接続する。
- 2次低圧制御ケーブル及び弱電ケーブルも同様に新設各盤端子台に接続する。
- 配線用遮断器の二次側に幹線ケーブル接続端子台を設け接続する。
- キュービクルは分割搬入接合可能な構造とする。
- 配線用遮断器の二次側に幹線ケーブル接続端子台を設け接続する。
- 配線用遮断器の負荷名称を配電盤裏面に貼り付ける。
- 変圧器・コンデンサの機器銘板を各盤扉の内側に貼り付ける。
- JFL-M 16-350×16本で施工する。
- 設備台帳を作成し、提出する。（内容については監督職員と協議のもと決定する。）





- 注記事項
- Tr 1 75KVA, Tr 3 100KVA, SCはPCB分析調査を行う。
 - 仮設時の関西電力送配電の引込開閉器操作費用含む。
 - 電気主任技術者と調整のもと停電作業を行う。電気主任技術者立会費用は本工事に含む。
 - 電気主任技術者と調整のもと停電作業を行う。電気主任技術者立会費用は本工事に含む。
 - 発電機内にアスベストが含まれているため、解体し適正に処理する。
 - 発電機内に蓄電池HSE-40-12 2個が含まれているため、適正に処理する。
- 広域認定制度によるリサイクルシステムを利用しても良い。

回路番号	サイズ	負荷名称 記号	容量 (KVA)	MCB		
				AF	AT	P
L11	150°	L1-1		400	250	3
L12	60°	L2-1, L3-1		225	150	3
L13	100°	L2-2, L3-2		225	200	3
L14	22°	ほほえみ広場 (L-1)		100	75	3
L15	38°	L-B		225	100	3
L16	FPC 5.5°	複合盤		50	20	2
L17	FPC 5.5°	防災AMP		50	20	2
L18	5.5°	車庫ポンプ室電灯		50	15	2
L19		高圧地絡		50	20	2
L20		漏電警報		50	20	2
L21		換気扇		50	20	2
L22		発電機		50	20	2
L23		発電機		50	20	2

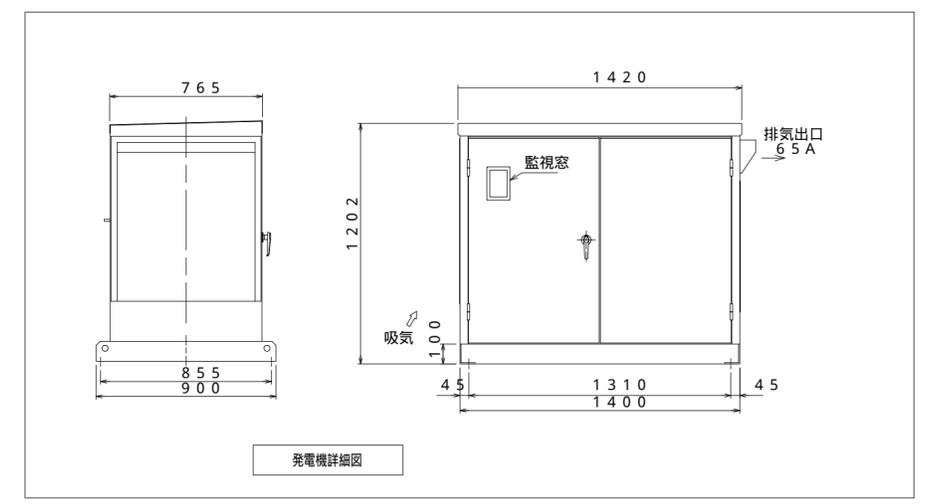
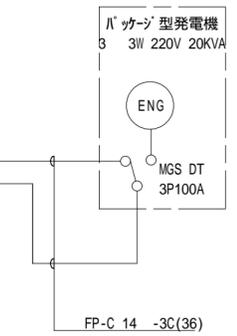
既設負荷と共用

既設負荷と共用

低圧電灯盤

M24	38°	L1-2, L2-2, L2-3		150	150	3
M25	60°	冷水器発生機制御盤		150	150	3
M26	38°	第3会議室空調機		100	100	3
M27	22°	ELV		100	60	3
M28	14°	浄化槽		50	50	3
M29	8°	M-2		50	75	3
M32	22°	空調力盤 (M1-A)		50	50	3
M33	14°	給水ポンプ (MP-W)		50	50	3
M30		発電機送り		50	50	3
M31	FP-C 8.0°	M-1 (消火ポンプ)		50	50	3

低圧動力盤



要目表

機種名称		AP25C-S (屋外)	
発電機	形式	横軸回転界磁同期発電機	エンジン
	容量	22/25 kVA	形式
	電圧	17.6/20.0 kW	燃焼方式
	電流	200/220 V	定格出力
	周波数	63.6/65.6 A	回転速度
	回転速度	50/60 Hz	総排気量
	相数	3000/3600 min ⁻¹	冷却方式
	種数	3相3線	冷却水量
	力率	2機	始動方式
	励磁方法	80%	使用燃料
耐熱クラス	発電機	電機子:155(F) 界磁:180(H)	種類
	励磁機	電機子:155(F) 界磁:155(F)	種類
保護方式	保護形式	保護形(TP20)	搭載タンク容量
	冷却方式	自由通流形(IC01)	燃料消費量
充電方式	充電方式	半導体式全自動充電	潤滑油量(全量/有効量)
	キュービクル	騒音種 85dB(A)以下	ラジエータファン排風量
ベース	騒音種	5Y7/1 半ツヤ	バッテリー種類
	仕様	溶融亜鉛メッキ	容量
			乾燥質量
			乾燥質量
			認定

保護警報装置

項目	デバイス	警報表示灯	警報	機内自動停止	主回路遮断	外部信号
潤滑油圧低下	63Q	○	○	○	○	○ (一括)
冷却水温度上昇	26W	○	○	○	○	
過回転(過速度)	12	○	○	○	○	
始動渋滞	48T	○	○	○	—	
過電流	51	○	○	×	○	
緊急停止	5E	○	○	○	○	

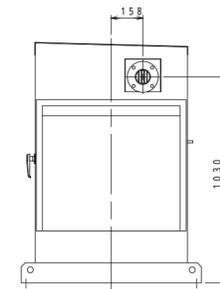
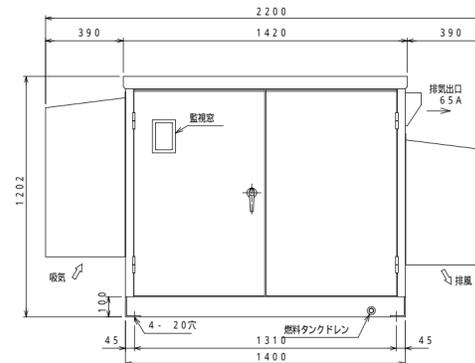
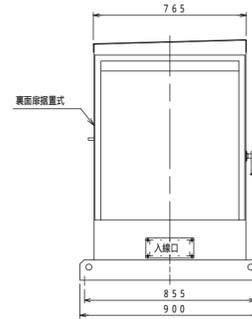
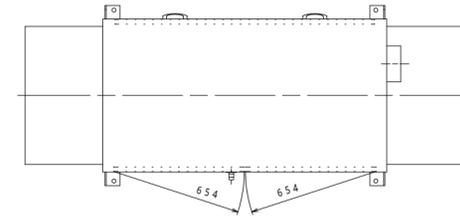
4方向エネルギー平均
機内1m、高さ1.2m 半自由音場による

遠隔通信項目

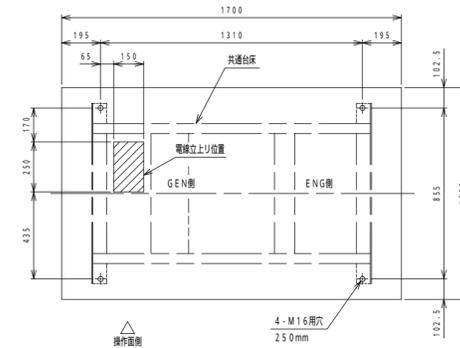
(中央監視等項目とは異なります)

項目	項目
運転可能/運転中	運転可能時間
自動/試験	発電出力
通方/手元	発電電圧
発電/高用	燃料残油量
始動	バッテリー電圧
充電中	パッケージ内部温度
停止	積算運転時間
故障	保守運転日
	回転速度

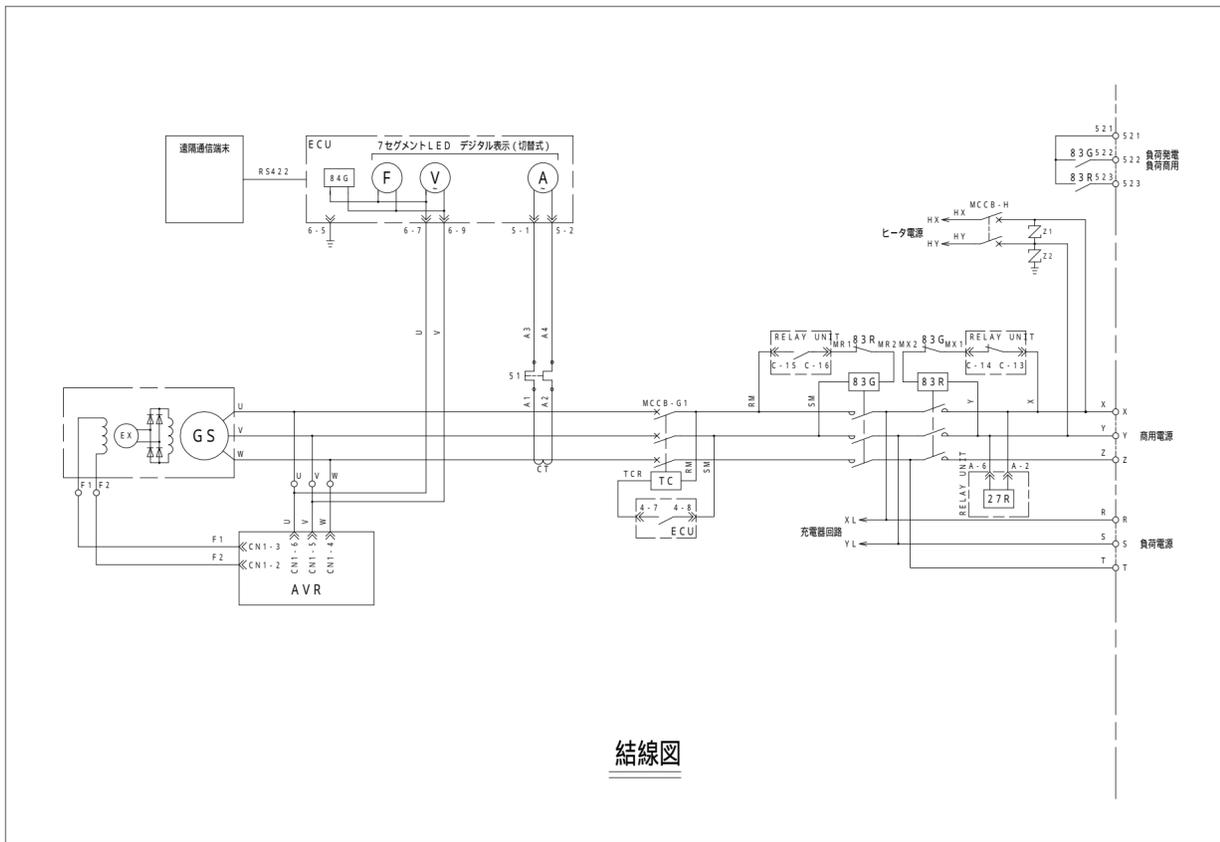
メーカーによる遠隔通信端末を装備するものとする。
 ・「遠隔通信項目」をWeb閲覧する場合は、ユーザー登録を必要とする。
 ・ユーザー登録すると24時間365日、メーカー窓口での受付を可能とする。
 ・メーカーによる遠隔監視が必要な場合は、別途有償契約とする。
 設置場所の通信状況によっては別途延長配線が必要、または通信できない場合がある。
 遠隔通信項目の項目名称は参考とする。
 別添タンクの燃料残油量表示はオプションとし、別途協議で決定する。
 JF70-MH16 250x4本 で施工する。
 燃料を容量の限界まで入れておく。



発電設備外形図

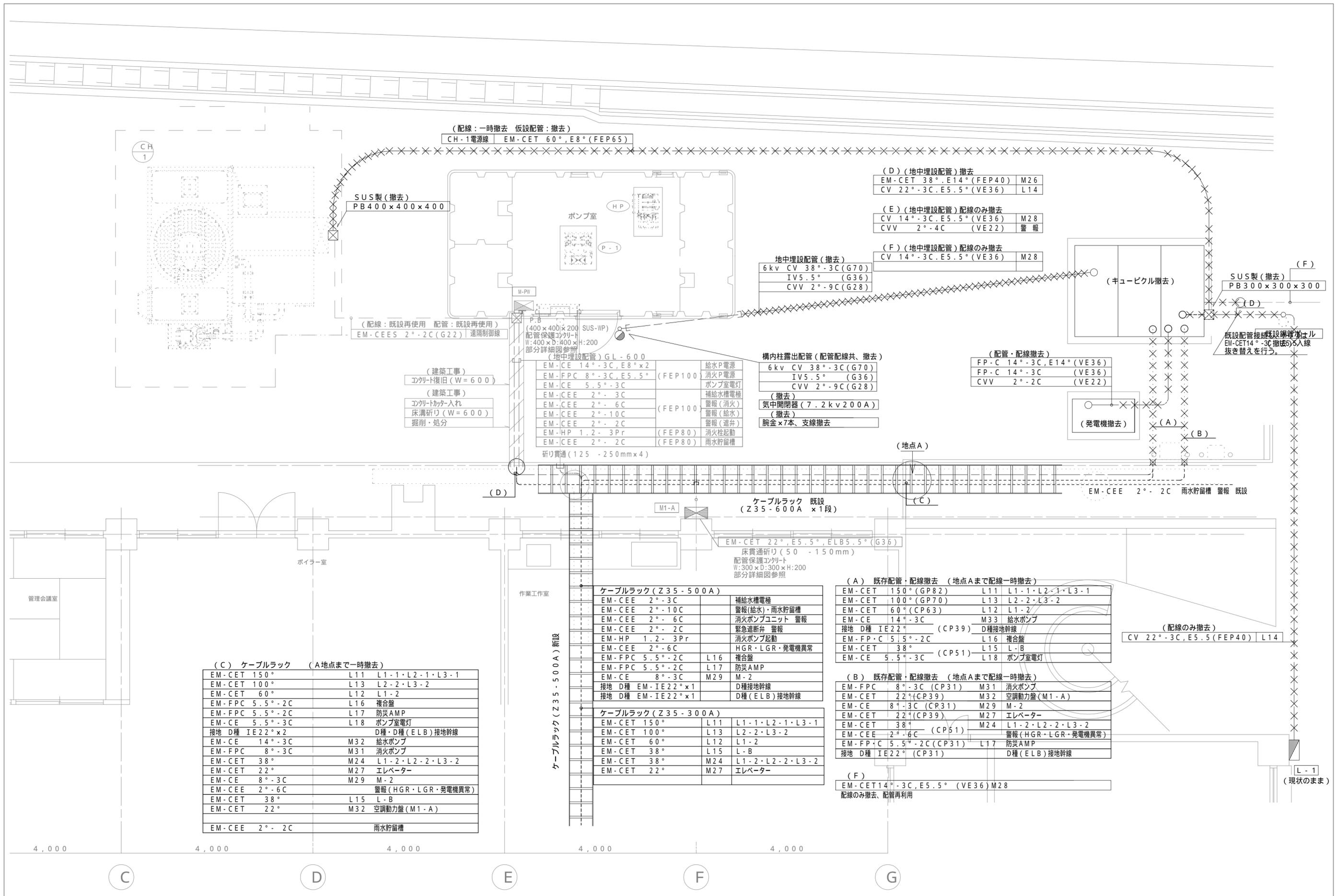


基礎及び電線立上り位置図



結線図

記事	株式会社 前田都市設計		校閲	主査	工事名称	宇治市総合福祉会館キュービクル改修工事	作成年月日	図面番号
	一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎		担当	担当				
						図面名称	発電機 仕様書	



(C) ケーブルラック (A地点まで一時撤去)

EM-CET 150°	L11	L1-1・L2-1・L3-1
EM-CET 100°	L13	L2-2・L3-2
EM-CET 60°	L12	L1-2
EM-FPC 5.5°-2C	L16	複合盤
EM-FPC 5.5°-2C	L17	防災AMP
EM-CE 5.5°-3C	L18	ポンプ室電灯
接地 D種 IE22°x2		D種・D種(ELB)接地幹線
EM-CE 14°-3C	M32	給水ポンプ
EM-FPC 8°-3C	M31	消火ポンプ
EM-CET 38°	M24	L1-2・L2-2・L3-2
EM-CET 22°	M27	エレベーター
EM-CE 8°-3C	M29	M-2
EM-CEE 2°-6C		警報(HGR・LGR・発電機異常)
EM-CET 38°	L15	L-B
EM-CET 22°	M32	空調動力盤(M1-A)
EM-CEE 2°-2C		雨水貯留槽

ケーブルラック (Z35-500A) 新設

ケーブルラック (Z35-500A)

EM-CEE 2°-3C		補給水槽電極
EM-CEE 2°-10C		警報(給水)・雨水貯留槽
EM-CEE 2°-6C		消火ポンプユニット 警報
EM-CEE 2°-2C		緊急遮断弁 警報
EM-HP 1.2-3Pr		消火ポンプ起動
EM-CEE 2°-6C		HGR・LGR・発電機異常
EM-FPC 5.5°-2C	L16	複合盤
EM-FPC 5.5°-2C	L17	防災AMP
EM-CE 8°-3C	M29	M-2
接地 D種 EM-IE22°x1		D種接地幹線
接地 D種 EM-IE22°x1		D種(ELB)接地幹線

ケーブルラック (Z35-300A)

EM-CET 150°	L11	L1-1・L2-1・L3-1
EM-CET 100°	L13	L2-2・L3-2
EM-CET 60°	L12	L1-2
EM-CET 38°	L15	L-B
EM-CET 38°	M24	L1-2・L2-2・L3-2
EM-CET 22°	M27	エレベーター

(A) 既存配管・配線撤去 (地点Aまで配線一時撤去)

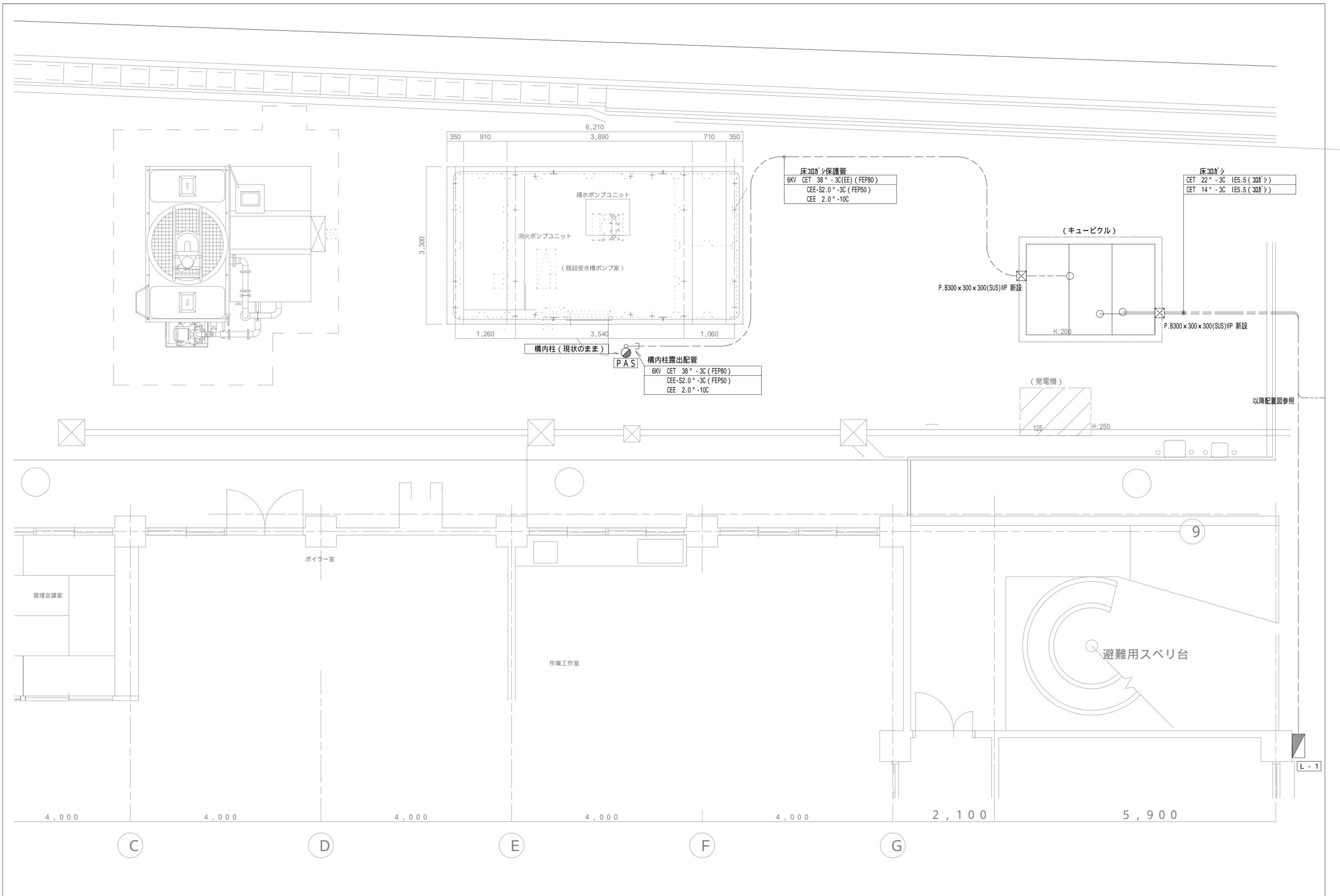
EM-CET 150°(GP82)	L11	L1-1・L2-1・L3-1
EM-CET 100°(GP70)	L13	L2-2・L3-2
EM-CET 60°(CP63)	L12	L1-2
EM-CE 14°-3C	M33	給水ポンプ
接地 D種 IE22°	(CP39)	D種接地幹線
EM-FPC 5.5°-2C	L16	複合盤
EM-CET 38°	L15	L-B
EM-CE 5.5°-3C (CP51)	L18	ポンプ室電灯

(B) 既存配管・配線撤去 (地点Aまで配線一時撤去)

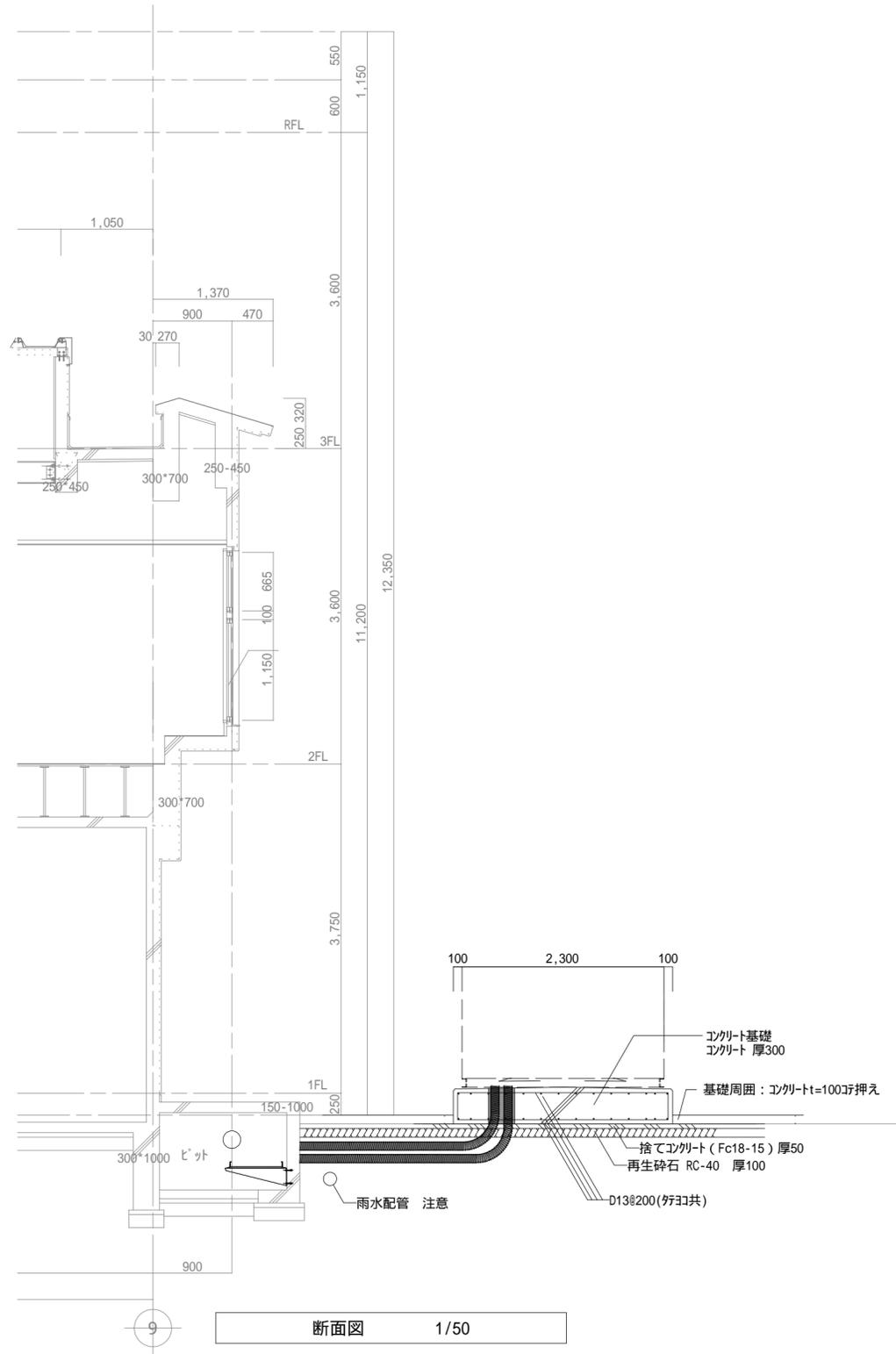
EM-FPC 8°-3C (CP31)	M31	消火ポンプ
EM-CET 22°(CP39)	M32	空調動力盤(M1-A)
EM-CE 8°-3C (CP31)	M29	M-2
EM-CET 22°(CP39)	M27	エレベーター
EM-CET 38°	M24	L1-2・L2-2・L3-2
EM-CEE 2°-6C (CP51)		警報(HGR・LGR・発電機異常)
EM-FPC 5.5°-2C (CP31)	L17	防災AMP
接地 D種 IE22° (CP31)		D種(ELB)接地幹線

(F) 配線のみ撤去、配管再利用

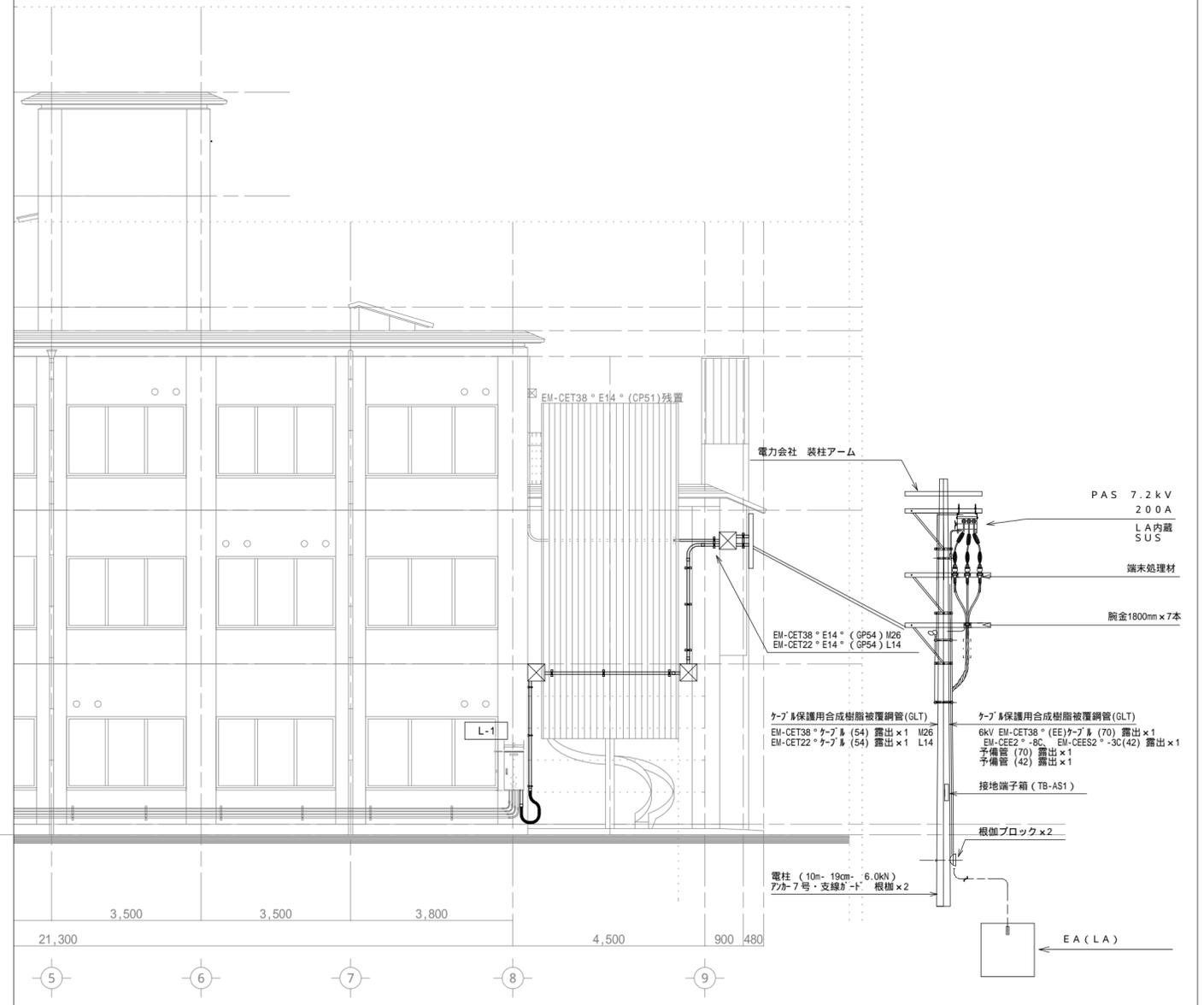
EM-CET 14°-3C, E5.5° (VE36)	M28	
-----------------------------	-----	--



記事		<p align="center">株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎</p>	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館キュービクル改修工事	作成年月日 R06.03	図面番号 E - 11
			担当	担当		担当	
図面名称 設備ヤード 幹線動力設備 仮設配線図							

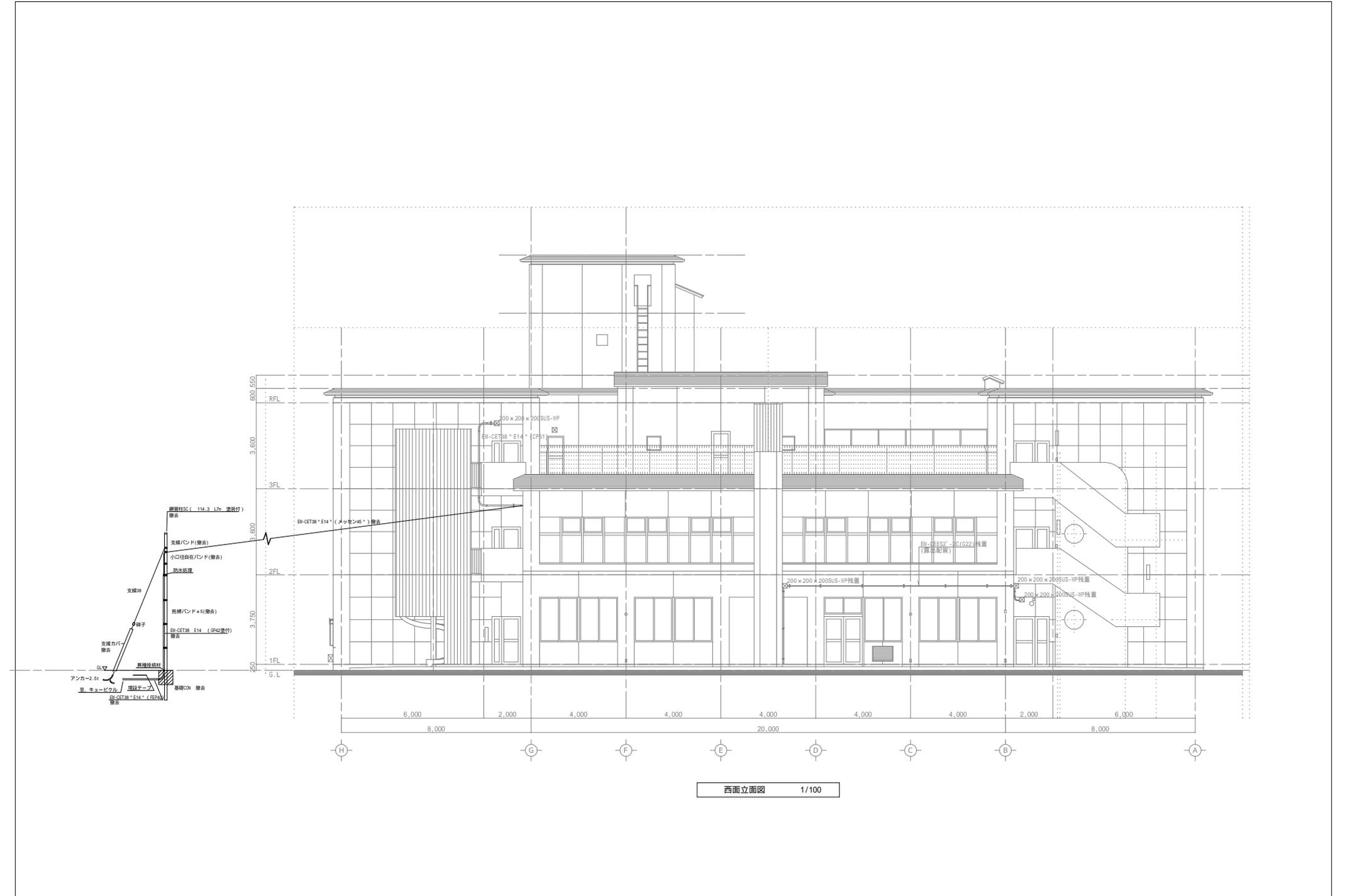


断面図 1/50



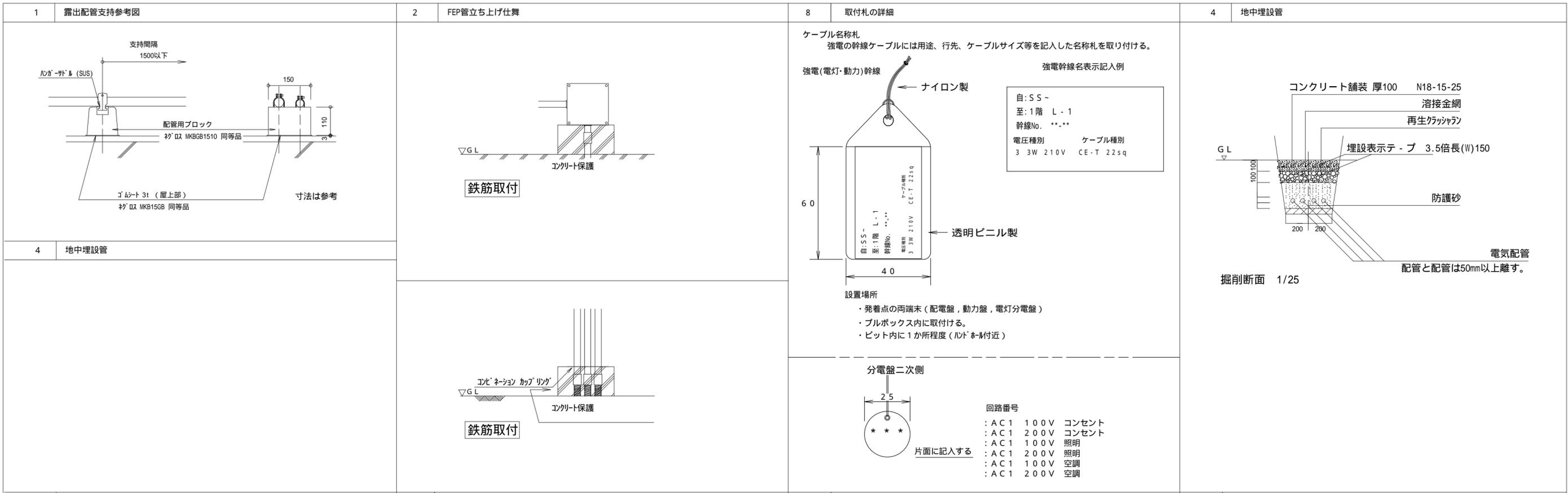
北面立面図 1/100

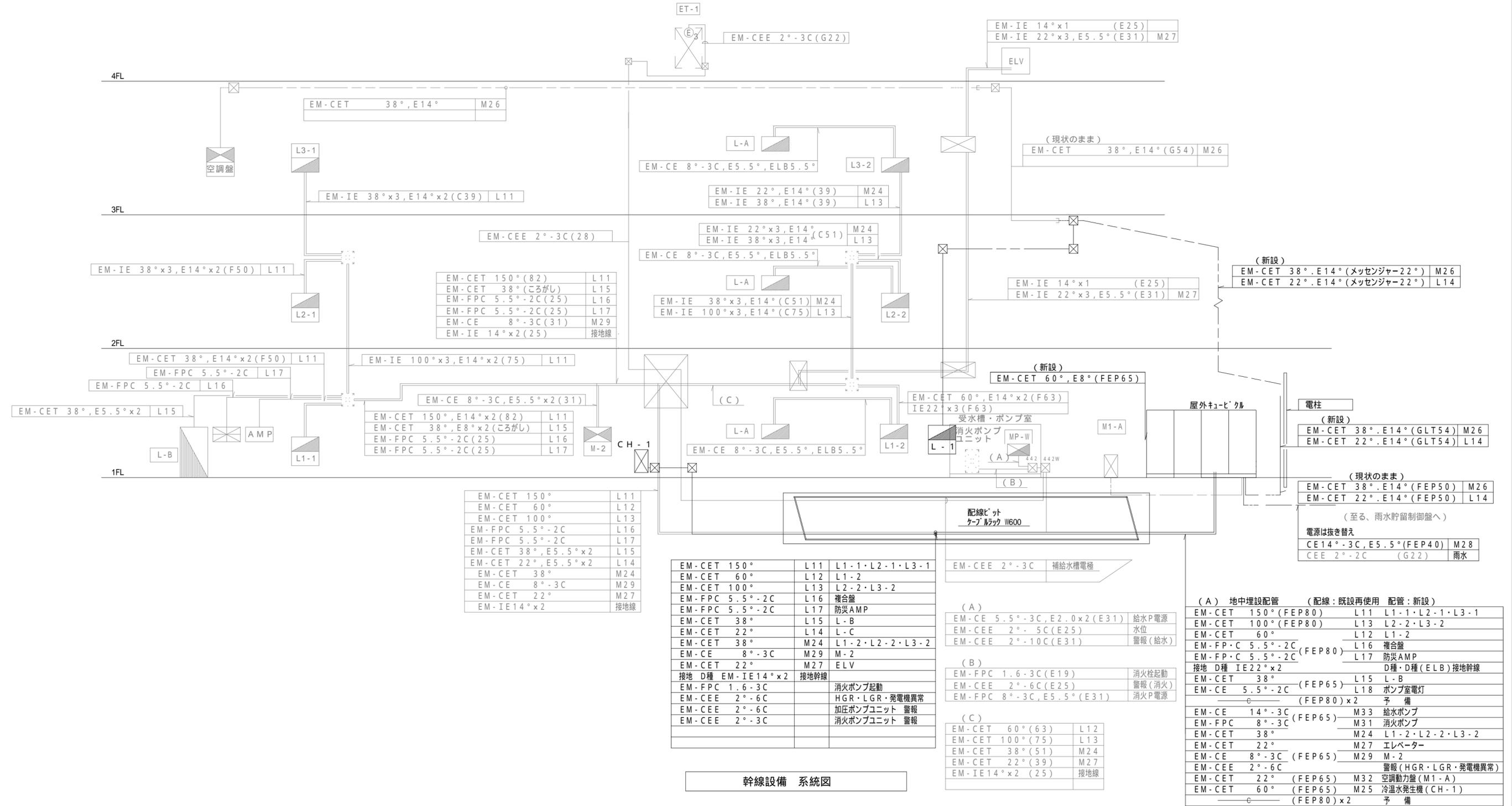
記事	MAEDA	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲		主査		工事名称 宇治市総合福祉会館キュービクル改修工事	作成年月日 R06.03	図面番号 E-12
			担当	担当	担当	担当			
図面名称 北面立面図・断面図(改修)							縮尺 1/50 1/100		

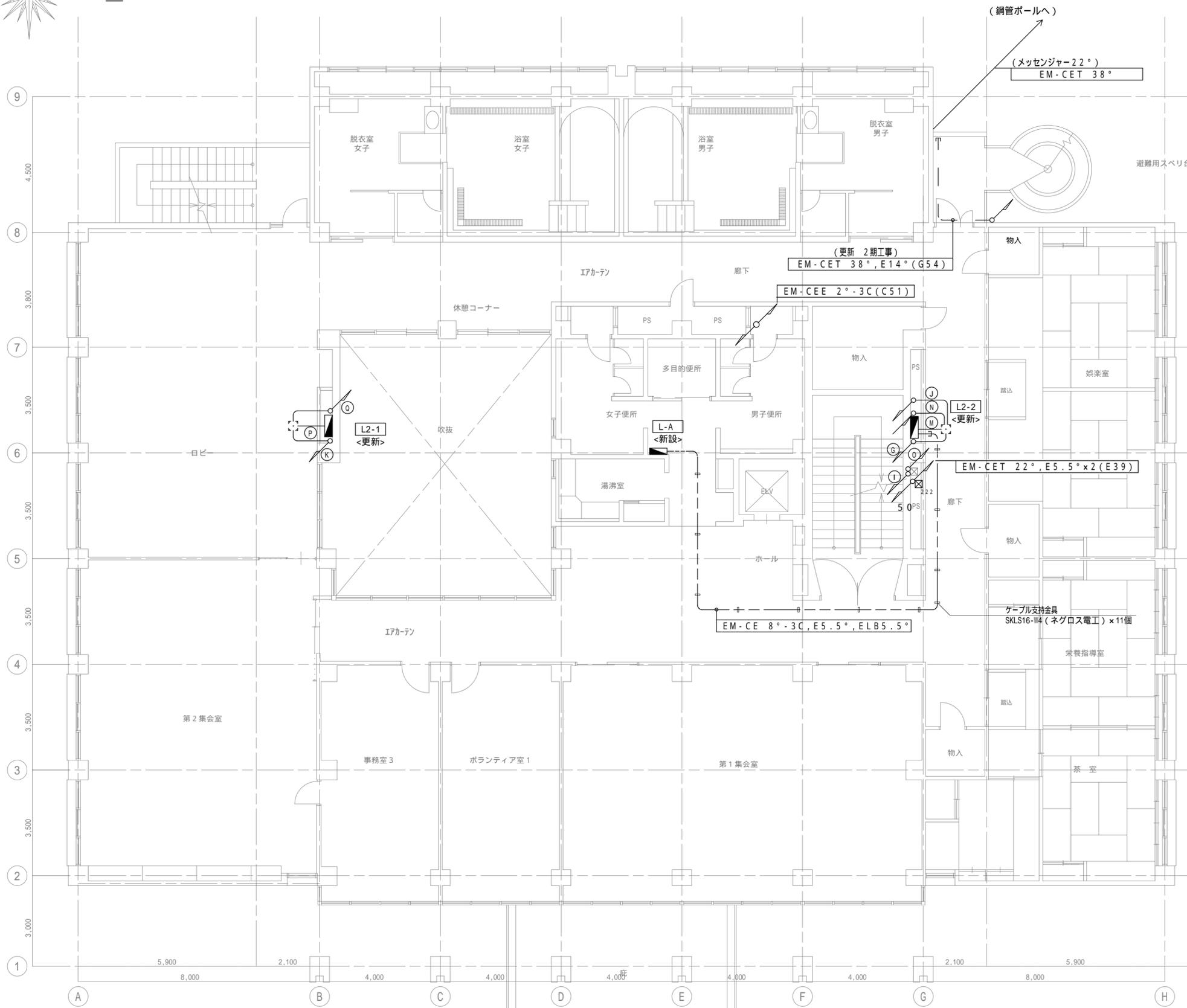
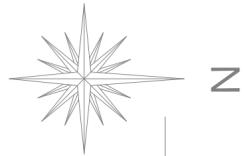


西面立面図 1/100

記 事		<p>株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎</p>	校閲		主査		工事名称 宇治市総合福祉会館キュービクル改修工事	作成年月日 R06.03	図面番号 E - 13
			担当	担当	担当	担当			

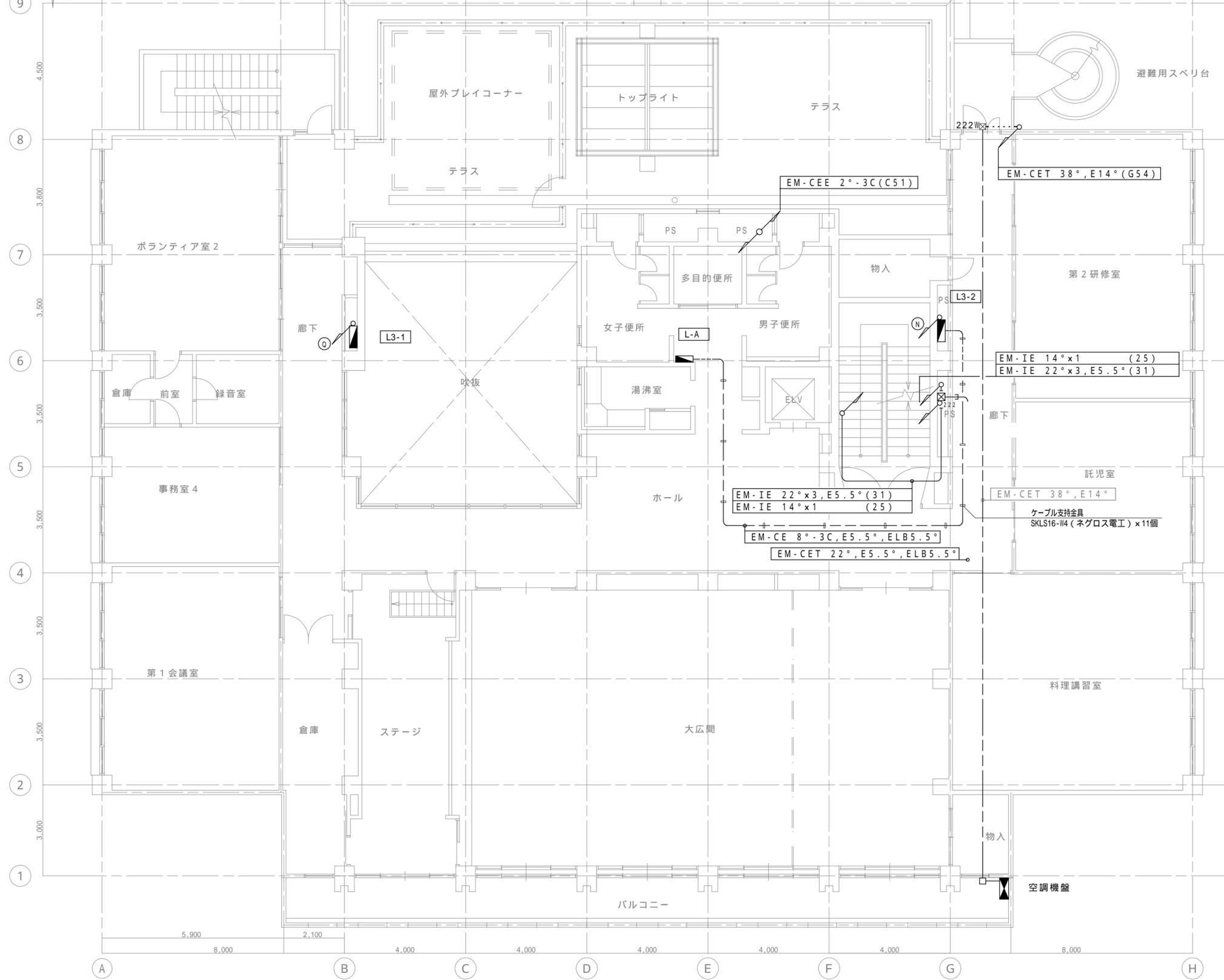
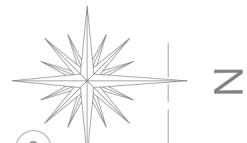






Ⓧ	EM-IE 100° x 3, E14° x 2 (CP75)	L13	電灯・動力分電盤L2-2、L3-2 (2Fへ)
Ⓨ	EM-IE 100° x 3, E14° x 2 (CP75)	L11	電灯分電盤L2-1、L3-1 (2Fへ)
Ⓩ	EM-IE 38° x 3, E14° x 2 (CP51)	M24	電灯・動力分電盤L2-2、L3-2(2Fへ)
ⓐ	EM-CET 22°	(CP39) M27	エレベーター
	EM-IE 5.5° x 2 (CP19)		D種接地
ⓑ	EM-CET 22°	(CP39) M27	エレベーター
	EM-IE 5.5° x 2		D種接地
ⓒ	EM-IE 22° x 3, E14° x 2 (CP39)	M24	電灯・動力分電盤L2-2、L3-2 (3Fへ)
	EM-IE 38° x 3, E14° x 2 (CP39)	L13	電灯・動力分電盤L2-2、L3-2 (3Fへ)
ⓓ	EM-IE 22° x 3, E14° x 2 (F50)	M24	電灯・動力分電盤L2-2、L3-2 (2Fへ)
	EM-IE 38° x 3, E14° x 2 (F50)	L13	電灯・動力分電盤L2-2、L3-2 (2Fへ)
	EM-IE 5.5° x 3 x 2 (F50)		2次側 17-カーブ
	VVF2.0' -2C x 3 (F50)		2次側
	IV2.0' x 23IV5.5 (F50)		2次側
ⓔ	EM-IE 38° x 3, E14° x 2 (F50)	L11	電灯分電盤L2-1、L3-1 (2Fへ)
	IV2.0' x 18 (F50)		2次側
	VA2.0-2C (F50)		2次側
ⓕ	EM-IE 38° x 3, E14° x 2 (CP39)	L11	電灯分電盤L2-1、L3-1 (3Fへ)

2階平面図 1/100



(N)	EM-IE22° x3, E14° x2 (CP39)	M24	電灯・動力分電盤L2-2、L3-2 (3Fへ)
	EM-IE38° x3, E14° x2 (CP39)	L13	電灯・動力分電盤L2-2、L3-2 (3Fへ)
(Q)	EM-IE38° x3, E14° x2 (CP39)	L11	電灯分電盤L2-1、L3-1 (3Fへ)

3階平面図 1/100

記 事	MAEDA	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館キュービクル改修工事	作成年月日 R06.03	図面番号 E-18
			担当	担当		担当	
図面名称 幹線設備 3階 (参考図)							

建築改修工事 特記仕様書

【1】 工事概要

1. 工事場所 _____

2. 敷地面積 _____ m²

3. 建築物概要

棟名	構造	階数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備考
					執務並行改修 全館無人改修
					執務並行改修 全館無人改修
					執務並行改修 全館無人改修

4. その他 _____

【2】 適用範囲

現場説明書（質疑回答書を含む）、本特記仕様書、図面、改修標準仕様書に示す範囲とする。すべての設計図書は相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）をいう。（以下、これを「改修標仕」という。）本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「改修標仕」の適用を受けるものとする。

【3】 工事区分

設計図書による。
別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

【4】 工事仕様

1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修標仕」のほか別記の適用基準による。
2. 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。
3. 特記事項は、 印の付いたものを適用する。 印の付かない場合は、 印の付いたものを適用する。 印と 印の付いた場合は、共に適用する。 印が抹消された場合は、 印のみ適用する。
4. 項目及び特記事項に記載の () 内表示番号は「改修標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
1	適用基準等	公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 令和4年版（監修：国土交通省） 建築工事標準詳細図 令和4年改定（監修：国土交通省） 敷地調査共通仕様書 令和4年改定（監修：国土交通省） 建築構造設計基準、同資料 令和3年改定（監修：国土交通省） 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 令和4年版（監修：国土交通省） 公共建築木造工事標準仕様書 令和4年版（監修：国土交通省） 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和4年版（監修：国土交通省） 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編） 令和4年版（監修：国土交通省） <small>（注：監修機関「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁営繕部を示す）</small>
1	建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。 下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」にある材料とする。 また、同評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとしてすることができる。（評価名簿によるもの） 床型特用鋼製デッキプレート（ワットパット）、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材（プレミックス形、現場調合形）、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材（防水立上部）、陶磁器質タイル、既製調合モルタル（タイル工用）、既製調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材（モルタル用）、アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類（シラダ錠、レール錠、シリダ錠、シリダ錠）、クローザー類（ドアクローザー、ヒンジクローザー、ドアヒンジ）、自動扉機構（制動装置・駆動装置・検出装置、制御装置・駆動装置・検出装置）、自閉式上吊り引戸機構（手動開き式）、重量シャッター、軽量シャッター、オートヘッド入、ガラス（フロートガラス、型板ガラス、網入板ガラス・線入板ガラス、熱線吸収板ガラス、倍強板ガラス、熱線反射ガラス）、ガラスブロック（中空）、防水剤、現場発泡断熱材、気圧変化DP（3000N、5000N）、可動間仕切り、移動間仕切り（移動型）、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム（屋上緑化システム、屋上緑化軽量システム）、トッブライト、エポキシ樹脂、タイル部分張替え用接着剤、ポリマーセメントモルタル、鋳鉄製ふた（マンホールふた・弁拵ふた）

章	項目	特記事項																																	
1	特別な材料の工法	設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。																																	
1	風圧力及び積雪に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面相度区分等 風速 (Vo) 3 2 (平成12年5月31日建設省告示第1454号) 地表面相度区分 多雪地域の指定 なし あり																																	
1	現場代理人	本工事の施工にあたっては、工事請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。																																	
1	工事工程報告	月報は毎月末日に於て、翌月5日までに提出する。 日報は監督職員の指示による。 週報は毎週 () 曜日に提出する。																																	
1	工事実績情報の登録 (1.1.4)	適用する (適用事項は、現場説明書による)																																	
1	設備工事との取合い	施工範囲 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 施工図 設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。																																	
1	施工図等の取扱い (1.2.3)	施工図等の著作権に係る当該建築物に隣る使用権は、発注者に移譲される。																																	
1	工事写真 (1.2.4)	工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（最新版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）によるほかは監督職員の指示による。 下記のものも監督職員に提出する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>部数</th> <th>ネガ1枚につき</th> <th>分類・規格</th> <th>原版の大きさ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着工前</td> <td>1</td> <td></td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>工事中</td> <td>1</td> <td></td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">完成時</td> <td>内</td> <td>2</td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>() 箇所</td> <td>2</td> <td>カラーサービス版</td> <td>60×70以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外</td> <td>2</td> <td></td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>() 箇所</td> <td></td> <td>カラーサービス版</td> <td>60×70以上</td> </tr> </tbody> </table> 写真をデジタル写真で撮影する場合には、完成写真については有効画素数300万画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判読できる精度を確保するものとする。 完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。 完成写真撮影業者は、監督職員の承諾する撮影業者（建築写真専門業者）とする。		部数	ネガ1枚につき	分類・規格	原版の大きさ (mm)	着工前	1		カラーサービス版	24×36以上	工事中	1		カラーサービス版	24×36以上	完成時	内	2	カラーサービス版	24×36以上	() 箇所	2	カラーサービス版	60×70以上	外	2		カラーサービス版	24×36以上	() 箇所		カラーサービス版	60×70以上
	部数	ネガ1枚につき	分類・規格	原版の大きさ (mm)																															
着工前	1		カラーサービス版	24×36以上																															
工事中	1		カラーサービス版	24×36以上																															
完成時	内	2	カラーサービス版	24×36以上																															
	() 箇所	2	カラーサービス版	60×70以上																															
外	2		カラーサービス版	24×36以上																															
	() 箇所		カラーサービス版	60×70以上																															
11	電気保安技術者 (1.3.3)	適用する																																	
11	施工条件 (1.3.5)	現場説明書による																																	
11	発生材の処理等 (1.3.12)	引渡しを要するもの () 工事現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの () 指定副産物の搬出（詳細は現場説明書による） アスファルトコンクリート塊 セメントコンクリート塊 建設発生木材 指定副産物の処分地（詳細は現場説明書による） 指定地処分 () 自由処分 (最寄りの再資源化施設へ搬出すること) 指定副産物以外の搬出 構外搬出適切処理 () 特別管理産業廃棄物 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C Bを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ (臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ (蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 廃石綿の処分地 (東京都環境保全公社瑞穂センター)	種類	処理方法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ (臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ (蓄電池電解液)		S F 6ガス使用機器																		
種類	処理方法																																		
廃石綿等																																			
P C Bを含む機器類																																			
P C B含有シーリング																																			
廃油																																			
廃酸・廃アルカリ (臭化リチウム)																																			
廃酸・廃アルカリ (蓄電池電解液)																																			
S F 6ガス使用機器																																			
11	せっこうボードの処理方法	石綿含有せっこうボードの処理 改修標仕9.1.5による ひ素・カドミウム含有のせっこうボードの処理 製造業者にて処分 埋立処分 その他のせっこうボードの処理 最終処分 再資源化																																	

章	項目	特記事項																																								
1	石綿含有建材の調査 (1.5.1)	調査 行う 石綿の除去に当たり、あらかじめ関係法令等に基づき、石綿含有建材の事前調査を下記により行い、結果を取りまとめ、監督職員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。 調査範囲 図示による 調査事項 石綿使用部位の確認 石綿層の厚さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 更衣施設等の仮設計画 廃棄物等の搬出方法 行わない 石綿含有分析手法 行う(分析結果を監督職員に提出する) JIS A 1481に基づくこと <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>(箇所数)</td> <td>(箇所数)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(箇所数)</td> <td>(箇所数)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(箇所数)</td> <td>(箇所数)</td> </tr> </tbody> </table> サンプル数 箇所あたり3サンプル 行わない 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 あり なし	材 料 名	定性分析	定量分析		(箇所数)	(箇所数)		(箇所数)	(箇所数)		(箇所数)	(箇所数)																												
材 料 名	定性分析	定量分析																																								
	(箇所数)	(箇所数)																																								
	(箇所数)	(箇所数)																																								
	(箇所数)	(箇所数)																																								
15	調査のための破壊部分の補修 (1.6.3)	既存破壊部分の補修方法 図示による																																								
16	技能士 (1.7.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>左官作業 型枠工事作業 コンクリート圧入工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>構造物鉄工作業 とび作業</td> </tr> <tr> <td>アルミ及びALCA' 補工事</td> <td>コンクリート工事作業 ALCA' 補工事作業</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>金属製カーテンウォール施工作業 ビル用サッシ施工作業 ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>アクリル防水工事作業 シリック防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アクリル樹脂系防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>鋼製下地工事作業 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>ビル用サッシ作業 自動ドア施工作業 ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>プラスチック系床仕上げ工事作業 ボード仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>溶融型インフラドマーカー工事作業 加熱型インフラドマーカー工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園工事作業</td> </tr> </tbody> </table> ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	とび作業	鉄筋工事	鉄筋組立作業	コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業 コンクリート圧入工事作業	鉄骨工事	構造物鉄工作業 とび作業	アルミ及びALCA' 補工事	コンクリート工事作業 ALCA' 補工事作業	カーテンウォール工事	金属製カーテンウォール施工作業 ビル用サッシ施工作業 ガラス工事作業	防水工事	アクリル防水工事作業 シリック防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アクリル樹脂系防水工事作業	石工事	石張り作業	タイル工事	タイル張り作業	木工事	大工工事作業	屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業	金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業	左官工事	左官作業	塗装工事	建築塗装作業	建具工事	ビル用サッシ作業 自動ドア施工作業 ガラス工事作業	内装工事	プラスチック系床仕上げ工事作業 ボード仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業	排水工事	建築配管作業	舗装工事	溶融型インフラドマーカー工事作業 加熱型インフラドマーカー工事作業	植栽工事	造園工事作業
工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																									
仮設工事	とび作業																																									
鉄筋工事	鉄筋組立作業																																									
コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業 コンクリート圧入工事作業																																									
鉄骨工事	構造物鉄工作業 とび作業																																									
アルミ及びALCA' 補工事	コンクリート工事作業 ALCA' 補工事作業																																									
カーテンウォール工事	金属製カーテンウォール施工作業 ビル用サッシ施工作業 ガラス工事作業																																									
防水工事	アクリル防水工事作業 シリック防水工事作業 ウレタン系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アクリル樹脂系防水工事作業																																									
石工事	石張り作業																																									
タイル工事	タイル張り作業																																									
木工事	大工工事作業																																									
屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業																																									
金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業																																									
左官工事	左官作業																																									
塗装工事	建築塗装作業																																									
建具工事	ビル用サッシ作業 自動ドア施工作業 ガラス工事作業																																									
内装工事	プラスチック系床仕上げ工事作業 ボード仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業																																									
排水工事	建築配管作業																																									
舗装工事	溶融型インフラドマーカー工事作業 加熱型インフラドマーカー工事作業																																									
植栽工事	造園工事作業																																									

章	項目	特記事項																
17	施工の検査等 (1.7.5)	見本施工の実施 適用する () 適用しない																
18	化学物質の濃度測定 (1.7.9)	適用する (適用事項は、現場説明書による)																
1	完成図 (1.9.2)	作成する (提出部数 2部 ()部) 詳細は監督職員の指示による。 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。																
1	保全に関する資料 (1.9.3)	作成する (提出部数 2部 ()部) 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 建物を使用する上での注意事項 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」及び「建築保全業務共通仕様書」を参考として作成すること。																
1	足場その他 (2.1.3) (2.2.1)	労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 外部足場 施行箇所面に枠組足場を設ける。 施行箇所面にくさび緊結式足場を設ける。 施行箇所面に単管本足場を設ける。 仮設ゴンドラを使用する。 移動式足場を使用する。 内部足場 脚立、足場板等 _____ 防護シート等 防音パネル 防音シート 養生シート ネット及び養生シート 材料、撤去材等の運搬方法 A種 B種 C種 D種 E種 (表2.2.1)																
2	仮設工事	足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省 基発第0424001号）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中核及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。 屋根工事及び小屋組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971（屋根工事用足場及び施工方法）の施工標準に基づく足場及び装備機材を設置すること。																
2	既存部分の養生 (2.3.1)	既存部分の養生 行う(ビニールシート、合板 _____) 行わない 既存家具・既存設備等の養生 行う(ビニールシート _____) 行わない 既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 行う 行わない 養生の方法 取り外しのうえ清掃 _____ 保管場所 室内にてカバー掛のし、適切保管 _____ 家具の移動 行う (図示) 行わない																
3	仮設間仕切り (2.3.2)	既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。 設ける (図示) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A種</td> <td>せっこうボード 種類 GB-R</td> <td>なし 片面</td> <td>グラスウール 24kg/m³</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>厚さ mm 9.5mm</td> <td></td> <td>厚さ 50mm</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>合板 材質 厚さ mm 9mm</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 設けない	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填	A種	せっこうボード 種類 GB-R	なし 片面	グラスウール 24kg/m ³	B種	厚さ mm 9.5mm		厚さ 50mm	C種	合板 材質 厚さ mm 9mm		
種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填															
A種	せっこうボード 種類 GB-R	なし 片面	グラスウール 24kg/m ³															
B種	厚さ mm 9.5mm		厚さ 50mm															
C種	合板 材質 厚さ mm 9mm																	
4	監督職員事務所 (2.4.1)	規模 10m ² 程度 20m ² 程度 35m ² 程度 65m ² 程度 100m ² 程度 仕上 床 合板張り素地 ビニルシート敷き バンカーパット敷き 内壁、天井 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂化粧珪藻土塗り 屋根 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り 鉄板張り鋼合板張り 休憩室 設けない (敷設) 備品 机 いす 保護帽 ゴム長靴 雨がっぱ 衣類ほか (上記6品、_____人分程度) 書棚 黒板 製図板 掛時計 温度計 消火器 掃除具 懐中電灯 湯沸器 加入電話機 冷暖房機器 コピー機 ネット回線 流し台 改修標仕(令和4年版) 建築改修工事監理指針(令和4年版) 建築工事施工チェックシート 建築工事標準詳細図(令和4年改定) 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(最新版)																



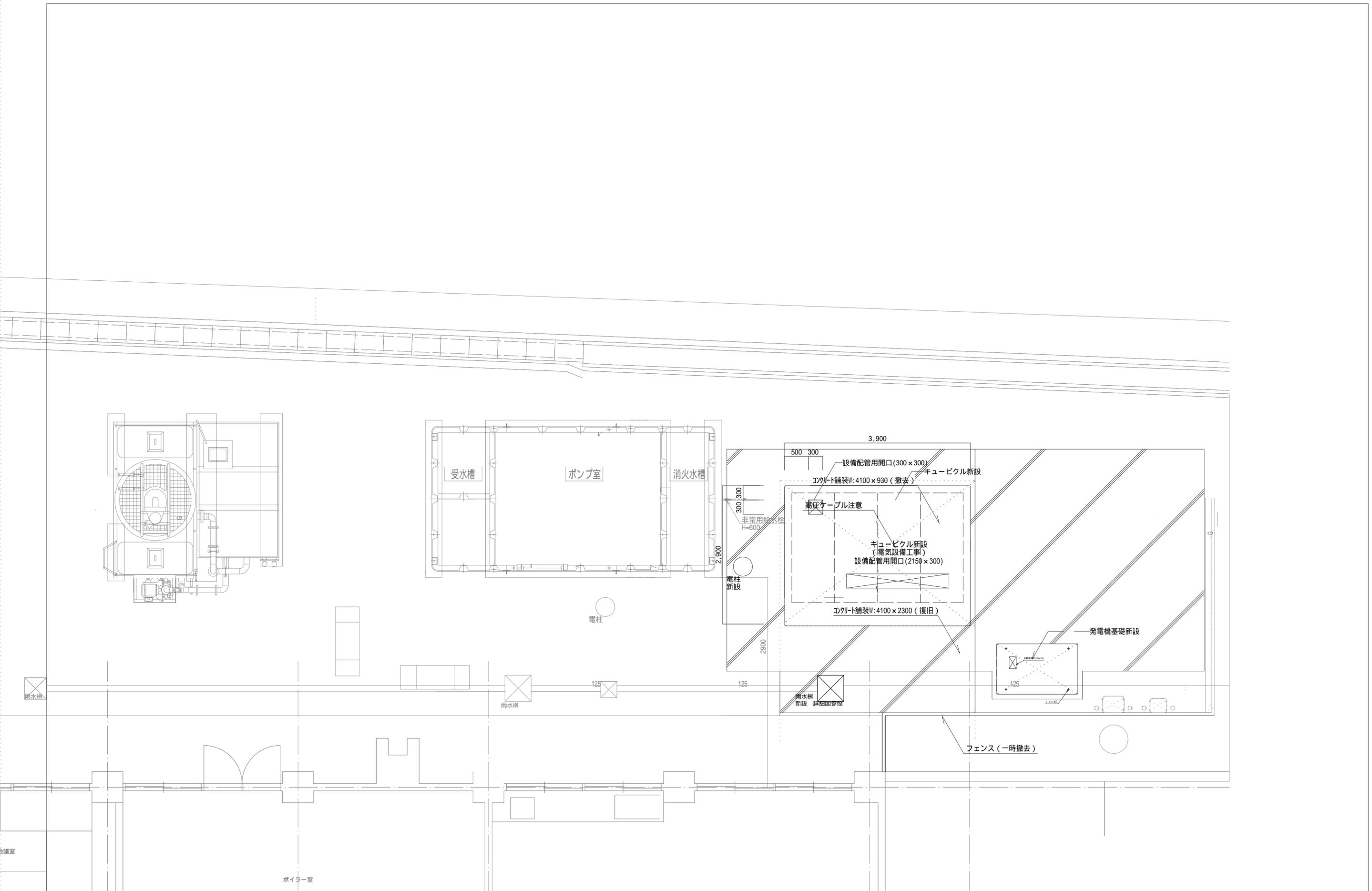
章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																						
⑨ ユニット及びその他の工事	10 表示・標識 (20.2.11)	衝突防止表示 図示による(市販品 ステンレス製 径 30 mm _____) なし 法令に基づく表示 非常用進入口表示等は消防法に適合する市販品とし、その他は標準詳細図による。 室名札 厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種別 取付け形式 5 アクリル板 アルミ板 角太ゴシック 丸 シルク印刷 平付型 平付型 持出型 外国語表現 行う (英語 _____) 寸法(mm) 50×250 60×250 図示による ピクトグラフ(便所、重いす、階段等) 厚さ(mm) 材 質 印刷等の種別 取付け形式 備 考 5 アクリル板 アルミ板 シルク印刷 持出型 持出型 寸法(mm) 150×150 図示による 案内板(館内、各階、便所) 厚さ(mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種別 取付け形式 5 アクリル板 アルミ板 角太ゴシック 丸 シルク印刷 平付型 平付型 持出型 外国語表現 行う (英語 _____) 寸法(mm) 600×600 100×600 200×200 図示による 館名板等 品質・規格 _____	20 掲示板 <table border="1"> <tr><th colspan="2">枠の材質</th><th>表面の材質</th><th>照明器具</th><th>施錠</th><th>品質・規格</th></tr> <tr><td>屋内</td><td>アルミ製(B-2) ステンレス製(SUS304)</td><td></td><td>—</td><td>—</td><td></td></tr> <tr><td>屋外</td><td>アルミ製(B-2) ステンレス製(SUS304)</td><td></td><td>あり</td><td>あり</td><td></td></tr> </table>	枠の材質		表面の材質	照明器具	施錠	品質・規格	屋内	アルミ製(B-2) ステンレス製(SUS304)		—	—		屋外	アルミ製(B-2) ステンレス製(SUS304)		あり	あり		⑩ 排水工事	21 カウンター 品質・規格 _____	⑪ 舗装工事	5 カラー舗装 (22.6.2) ~ (22.6.4)	⑫ 舗装工事	種 類 部 位 配合その他 加熱系アスファルト混合物 車路 添加材 着色骨材 自然石 歩行者 結合材 アスファルト 石油樹脂(添加量 _____) 用通路 アスファルト混合物等の抽出試験 適用する 適用しない 舗装の厚さ _____ mm 常温系ニート工法 常温系塗布工法 着色部の下部 舗装の平坦性 アスファルト舗装 コンクリート舗装 通行の支障となる水たまりを生じない程度																																		
	枠の材質		表面の材質	照明器具	施錠	品質・規格																																																							
	屋内	アルミ製(B-2) ステンレス製(SUS304)		—	—																																																								
	屋外	アルミ製(B-2) ステンレス製(SUS304)		あり	あり																																																								
	11 タラップ (20.2.12)	材質及び仕上げ ○ SUS304(スリップ止め加工 あり ○なし) ○ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (表14.2.2)による種別(C種 __種)	22 洗面カウンター 材 種 メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) 人工大理石(品質 図示) 奥行き(mm) 約450 約600	3 緑石 (21.3.1)	5 カラー舗装 (22.6.2) ~ (22.6.4)	6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2) ~ (22.7.6)	④ コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2) ~ (22.7.6)	舗装構成及び厚さ 図示による _____ 表層の厚さの試験 行う 行わない 開粒度アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない																																																				
	12 ブラインド (20.2.14)	<table border="1"> <tr><th>形式</th><th>種 類</th><th>スラットの材質</th><th>スラット幅(mm)</th><th>ボックスレールの材質</th></tr> <tr><td>横形</td><td>ギヤ式 コード式</td><td>アルミ合金</td><td>25 35</td><td>鋼製</td></tr> <tr><td>縦形</td><td>2本操作コード式 1本操作コード式</td><td>アルミスラット 加工スラット</td><td>80 100</td><td>アルミ合金製</td></tr> </table>	形式	種 類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックスレールの材質	横形	ギヤ式 コード式	アルミ合金	25 35	鋼製	縦形	2本操作コード式 1本操作コード式	アルミスラット 加工スラット	80 100	アルミ合金製	23 流し台ユニット <table border="1"> <tr><th>種 類</th><th>部品寸法(mm)</th><th>規 格</th><th>仕 様</th></tr> <tr><td>流し台</td><td></td><td>優良住宅部品</td><td>トラップ付き</td></tr> <tr><td>コンロ台</td><td></td><td>優良住宅部品</td><td>バックガード有り</td></tr> <tr><td>吊戸棚</td><td></td><td>優良住宅部品</td><td>高さ 約500 mm</td></tr> <tr><td>水切り棚</td><td></td><td>優良住宅部品</td><td>ステンレス製1段式</td></tr> </table>	種 類	部品寸法(mm)	規 格		仕 様		流し台			優良住宅部品	トラップ付き	コンロ台		優良住宅部品	バックガード有り	吊戸棚		優良住宅部品	高さ 約500 mm	水切り棚		優良住宅部品	ステンレス製1段式	④ コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	7 ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)	7 ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)	④ コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	コンクリート平板舗装 <table border="1"> <tr><th>種 類</th><th>部 位</th><th>寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>目 地</th></tr> <tr><td>普通平板(N)</td><td>カラー平板(C)</td><td>300角</td><td>60</td><td>砂</td></tr> <tr><td>洗出平板(W)</td><td>擬石(S)</td><td></td><td></td><td>モルタル</td></tr> </table> 品質・規格 _____ クッション材 砂 空練りモルタル	種 類	部 位	寸法(mm)	厚さ(mm)	目 地	普通平板(N)	カラー平板(C)	300角	60	砂	洗出平板(W)	擬石(S)			モルタル
	形式	種 類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックスレールの材質																																																								
	横形	ギヤ式 コード式	アルミ合金	25 35	鋼製																																																								
	縦形	2本操作コード式 1本操作コード式	アルミスラット 加工スラット	80 100	アルミ合金製																																																								
	種 類	部品寸法(mm)	規 格	仕 様																																																									
	流し台		優良住宅部品	トラップ付き																																																									
	コンロ台		優良住宅部品	バックガード有り																																																									
	吊戸棚		優良住宅部品	高さ 約500 mm																																																									
	水切り棚		優良住宅部品	ステンレス製1段式																																																									
	種 類	部 位	寸法(mm)	厚さ(mm)	目 地																																																								
普通平板(N)	カラー平板(C)	300角	60	砂																																																									
洗出平板(W)	擬石(S)			モルタル																																																									
13 ロースクリーン (20.2.15)	(20.2.15) <table border="1"> <tr><th>操作方法</th><th>スクリーンの材質</th><th>その他の材料</th><th>幅・高さ 取付箇所</th><th>品質等</th></tr> <tr><td>スプリング式 コード式 電動式</td><td>ガラス繊維製 合成・天然繊維製 木製</td><td>製造所の仕様</td><td>図示による</td><td></td></tr> </table>	操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等	スプリング式 コード式 電動式	ガラス繊維製 合成・天然繊維製 木製	製造所の仕様	図示による		24 非常用救助袋等 垂直降下式緩下機は消防法に基づく国家検定に合格したものとす。 形式 傾斜式 垂直式 品質・規格 _____	1 路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5)	7 ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)	④ コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	④ コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	インターロッキングブロック舗装 <table border="1"> <tr><th>種 類</th><th>部 位</th><th>形状寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>曲げ強度 (N/mm²)</th><th>色彩及び表面加工等</th></tr> <tr><td>普通ブロック 京エロンが 透水性ブロック</td><td>車路 歩行者 用通路</td><td></td><td>80 60 80</td><td>5.0 3.0</td><td>標準品</td></tr> <tr><td>植生ブロック</td><td>-</td><td></td><td>60 100</td><td></td><td></td></tr> </table> 品質・規格 _____ クッション材 砂	種 類	部 位	形状寸法(mm)	厚さ(mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	色彩及び表面加工等	普通ブロック 京エロンが 透水性ブロック	車路 歩行者 用通路		80 60 80	5.0 3.0	標準品	植生ブロック	-		60 100																												
操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等																																																									
スプリング式 コード式 電動式	ガラス繊維製 合成・天然繊維製 木製	製造所の仕様	図示による																																																										
種 類	部 位	形状寸法(mm)	厚さ(mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	色彩及び表面加工等																																																								
普通ブロック 京エロンが 透水性ブロック	車路 歩行者 用通路		80 60 80	5.0 3.0	標準品																																																								
植生ブロック	-		60 100																																																										
14 カーテン (20.2.16)	(20.2.16) <table border="1"> <tr><th>取付箇所</th><th>形 式</th><th>開閉操作方法</th><th>カーテン用きれ地の つなぎ</th><th>ひだの種類</th></tr> <tr><td></td><td>片引き ツグプル片引 ツグプル引</td><td>引分け 電動 電動</td><td>引分け 電動 電動</td><td>つまみ つまみ つまみ</td></tr> </table>	取付箇所	形 式	開閉操作方法	カーテン用きれ地の つなぎ	ひだの種類		片引き ツグプル片引 ツグプル引	引分け 電動 電動	引分け 電動 電動	つまみ つまみ つまみ	25 鍵箱 市販品 形式 釣下式 差込式 (30 60 120 _____) 組用(____) 個	① 1 路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5)	8 砂利敷き (22.9.2)	④ コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	④ コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	品質・規格 _____ クッション材 砂 空練りモルタル																																												
取付箇所	形 式	開閉操作方法	カーテン用きれ地の つなぎ	ひだの種類																																																									
	片引き ツグプル片引 ツグプル引	引分け 電動 電動	引分け 電動 電動	つまみ つまみ つまみ																																																									
15 カーテンレール (20.2.16)	(20.2.16) 材料 アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成形材 ステンレス 形式 片引き 引分け(暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする。) 形状 C型 D型 角型 強さによる区分 10-90 _____ 仕上げ アルマイト _____	26 車止め <table border="1"> <tr><th>形 式</th><th>材 質</th><th>柱径・肉厚(mm)</th><th>高さ(mm)</th></tr> <tr><td>上下式鎖内蔵型 (スリッパ付き)</td><td>ステンレス製(SUS304)</td><td>76.3 t=2.0 114.3 t=2.5</td><td>GL+700 GL+850</td></tr> </table> 基礎 無筋コンクリート造 350×350 H250程度	形 式	材 質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)	上下式鎖内蔵型 (スリッパ付き)	ステンレス製(SUS304)	76.3 t=2.0 114.3 t=2.5	GL+700 GL+850	① 1 路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5)	9 白線引き	④ コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	④ コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	品質・規格 _____ クッション材 砂 空練りモルタル																																														
形 式	材 質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)																																																										
上下式鎖内蔵型 (スリッパ付き)	ステンレス製(SUS304)	76.3 t=2.0 114.3 t=2.5	GL+700 GL+850																																																										
16 ブラインドボックス カーテンボックス	図示による 市販品(アルミニウム製 押し出し型材) 仕様等 溝幅×深さ(mm) 90×150 150×80 120×80 表面処理 C-1(無着色) C-2(着色)	27 フェンス <table border="1"> <tr><th colspan="2">表面仕上等</th><th colspan="2">種 類</th><th>門扉の仕様</th></tr> <tr><td>亜鉛めっき ビニル被覆</td><td>樹脂塗装 ネットフェンス</td><td>メッシュフェンス ネットフェンス</td><td>アイロンフェンス</td><td>片開き 両開き</td></tr> </table> フェンスの脱着 固定式 <table border="1"> <tr><th>材 質</th><th>厚さ(mm)</th><th>高さ(mm)</th><th>備 考</th></tr> <tr><td>網入り磨き板ガラス 線入り磨き板ガラス</td><td>6.8</td><td>500</td><td>アルミ製枠付き</td></tr> </table> 可動式 <table border="1"> <tr><th>種 類</th><th>材 質</th><th>高さ(mm)</th><th>備 考</th></tr> <tr><td>垂直降下式 (巻取り型)</td><td>不燃布 (不燃認定品)</td><td>500 800</td><td>ガイドレール 固定式(壁押込型) 可動式(天井収納型)</td></tr> <tr><td>回転降下式</td><td>鋼板制又はアルミ製</td><td>500 800</td><td>表面仕上げ 天井材張り</td></tr> </table> 降下機構 煙感知器運動及び手動開放装置(埋込型)	表面仕上等		種 類		門扉の仕様	亜鉛めっき ビニル被覆	樹脂塗装 ネットフェンス	メッシュフェンス ネットフェンス	アイロンフェンス	片開き 両開き	材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考	網入り磨き板ガラス 線入り磨き板ガラス	6.8	500	アルミ製枠付き	種 類	材 質	高さ(mm)	備 考	垂直降下式 (巻取り型)	不燃布 (不燃認定品)	500 800	ガイドレール 固定式(壁押込型) 可動式(天井収納型)	回転降下式	鋼板制又はアルミ製	500 800	表面仕上げ 天井材張り	① 1 路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5)	9 白線引き	④ コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	④ コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	品質・規格 _____ クッション材 砂 空練りモルタル																								
表面仕上等		種 類		門扉の仕様																																																									
亜鉛めっき ビニル被覆	樹脂塗装 ネットフェンス	メッシュフェンス ネットフェンス	アイロンフェンス	片開き 両開き																																																									
材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考																																																										
網入り磨き板ガラス 線入り磨き板ガラス	6.8	500	アルミ製枠付き																																																										
種 類	材 質	高さ(mm)	備 考																																																										
垂直降下式 (巻取り型)	不燃布 (不燃認定品)	500 800	ガイドレール 固定式(壁押込型) 可動式(天井収納型)																																																										
回転降下式	鋼板制又はアルミ製	500 800	表面仕上げ 天井材張り																																																										
17 かつぶきマット	材質 塩化ビニル製(コイル状 ステンレス製(SUS304)受枠) 硬質アルミニウム合金(受枠とも) ゴム製(ステンレス製(SUS304)受枠)	28 防煙垂れ壁 <table border="1"> <tr><th colspan="2">表面仕上等</th><th colspan="2">種 類</th><th>門扉の仕様</th></tr> <tr><td>亜鉛めっき ビニル被覆</td><td>樹脂塗装 ネットフェンス</td><td>メッシュフェンス ネットフェンス</td><td>アイロンフェンス</td><td>片開き 両開き</td></tr> </table> フェンスの脱着 固定式 <table border="1"> <tr><th>材 質</th><th>厚さ(mm)</th><th>高さ(mm)</th><th>備 考</th></tr> <tr><td>網入り磨き板ガラス 線入り磨き板ガラス</td><td>6.8</td><td>500</td><td>アルミ製枠付き</td></tr> </table> 可動式 <table border="1"> <tr><th>種 類</th><th>材 質</th><th>高さ(mm)</th><th>備 考</th></tr> <tr><td>垂直降下式 (巻取り型)</td><td>不燃布 (不燃認定品)</td><td>500 800</td><td>ガイドレール 固定式(壁押込型) 可動式(天井収納型)</td></tr> <tr><td>回転降下式</td><td>鋼板制又はアルミ製</td><td>500 800</td><td>表面仕上げ 天井材張り</td></tr> </table> 降下機構 煙感知器運動及び手動開放装置(埋込型)	表面仕上等		種 類		門扉の仕様	亜鉛めっき ビニル被覆	樹脂塗装 ネットフェンス	メッシュフェンス ネットフェンス	アイロンフェンス	片開き 両開き	材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考	網入り磨き板ガラス 線入り磨き板ガラス	6.8	500	アルミ製枠付き	種 類	材 質	高さ(mm)	備 考	垂直降下式 (巻取り型)	不燃布 (不燃認定品)	500 800	ガイドレール 固定式(壁押込型) 可動式(天井収納型)	回転降下式	鋼板制又はアルミ製	500 800	表面仕上げ 天井材張り	① 1 路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5)	9 白線引き	④ コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	④ コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	品質・規格 _____ クッション材 砂 空練りモルタル																								
表面仕上等		種 類		門扉の仕様																																																									
亜鉛めっき ビニル被覆	樹脂塗装 ネットフェンス	メッシュフェンス ネットフェンス	アイロンフェンス	片開き 両開き																																																									
材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考																																																										
網入り磨き板ガラス 線入り磨き板ガラス	6.8	500	アルミ製枠付き																																																										
種 類	材 質	高さ(mm)	備 考																																																										
垂直降下式 (巻取り型)	不燃布 (不燃認定品)	500 800	ガイドレール 固定式(壁押込型) 可動式(天井収納型)																																																										
回転降下式	鋼板制又はアルミ製	500 800	表面仕上げ 天井材張り																																																										
18 鋼製書架及び棚	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>規 格 等</th><th>JISによる種類</th></tr> <tr><td>鋼製書架</td><td>JIS S 1039 の規格による</td><td>1種 2種 3種</td></tr> <tr><td>鋼製物品棚</td><td>法務省型</td><td>4種 5種 6種</td></tr> </table>	種類	規 格 等	JISによる種類	鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	1種 2種 3種	鋼製物品棚	法務省型	4種 5種 6種	⑦ 1 材料 (21.2.1)	① 1 路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5)	9 白線引き	④ コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	④ コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	品質・規格 _____ クッション材 砂 空練りモルタル																																													
種類	規 格 等	JISによる種類																																																											
鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	1種 2種 3種																																																											
鋼製物品棚	法務省型	4種 5種 6種																																																											
19 収納家具(木製)	材質、形状、寸法 図示による 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F _____	⑧ 側塊、排水枘及びふた (21.2.1)	① 1 路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5)	9 白線引き	④ コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	④ コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	品質・規格 _____ クッション材 砂 空練りモルタル																																																						
記 事																																																													

記 事	校閲	主査	工事名称	宇治市総合福祉会館キュービクル改修工事	作成年月日	図面番号
	担当	担当	担当	担当	R06.03	A - 0 4
	図面名称			建築改修工事特記仕様書4	縮 尺	-

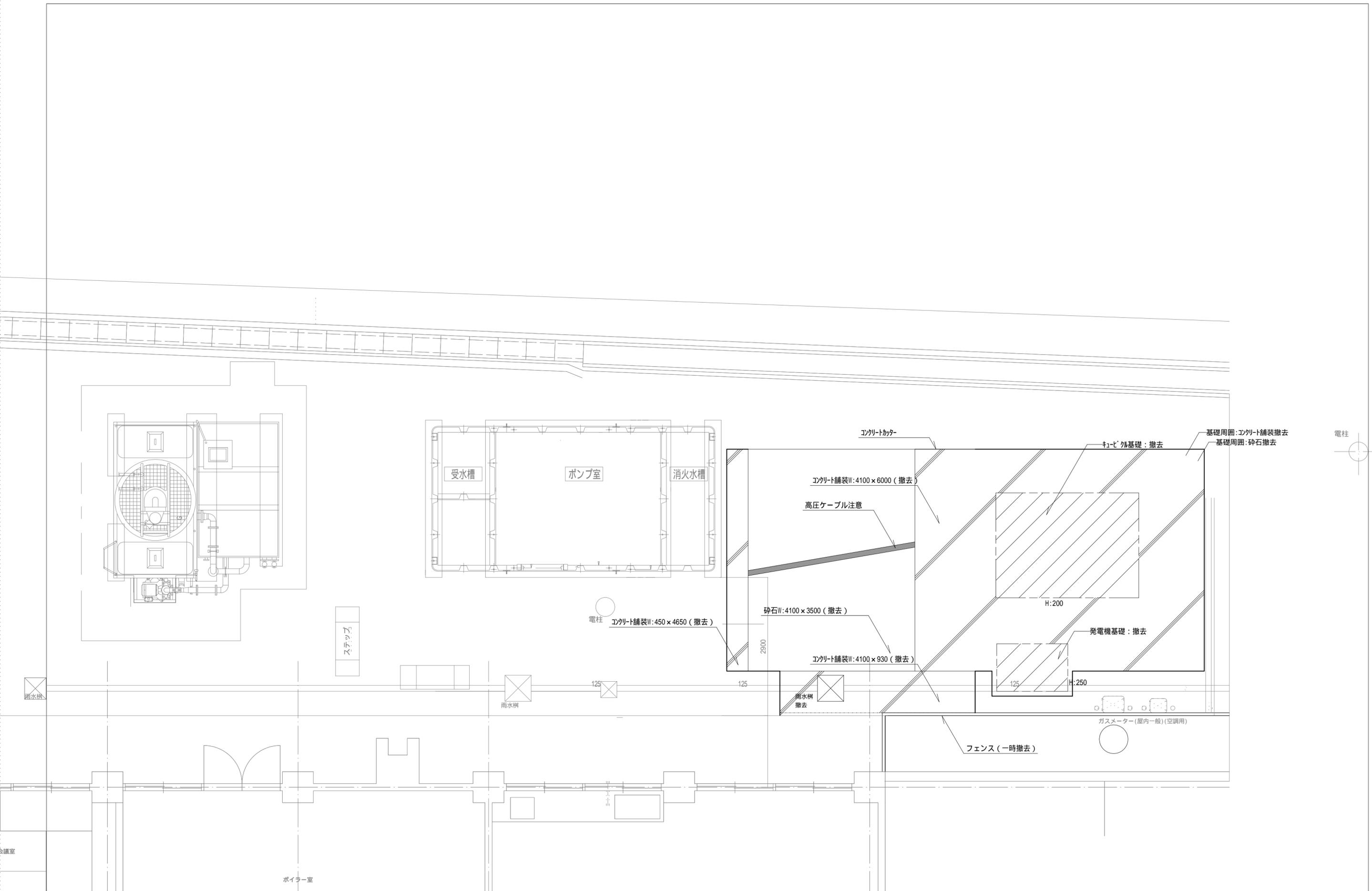


株式会社 前田都市設計
一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎

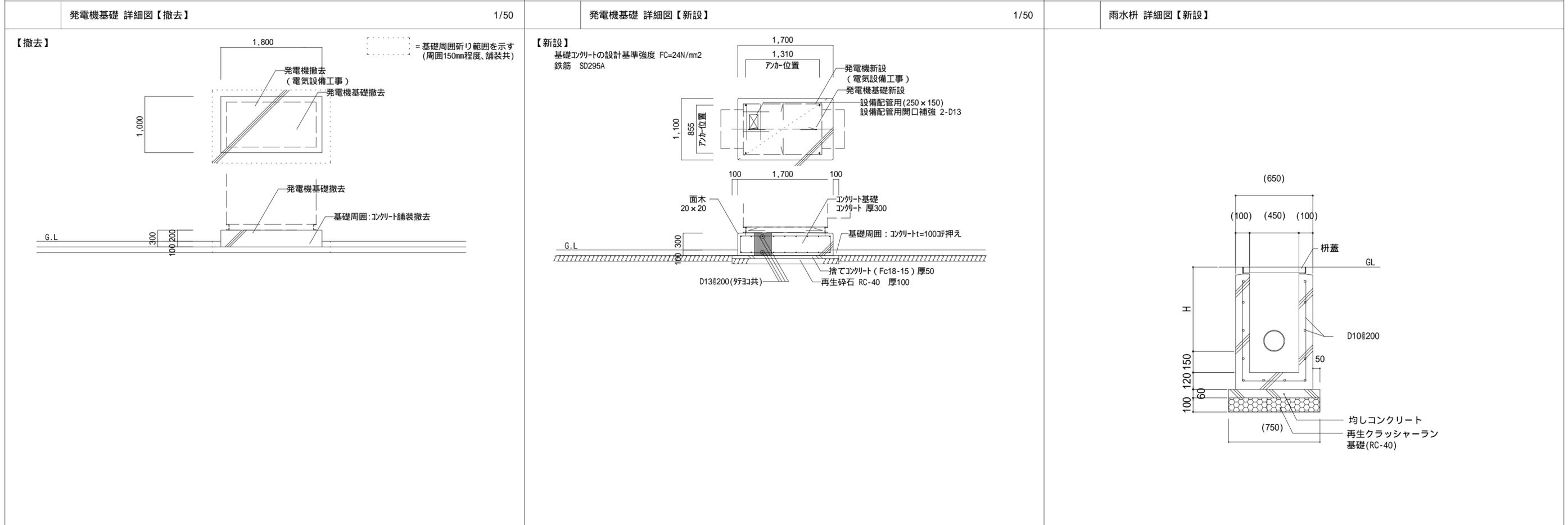
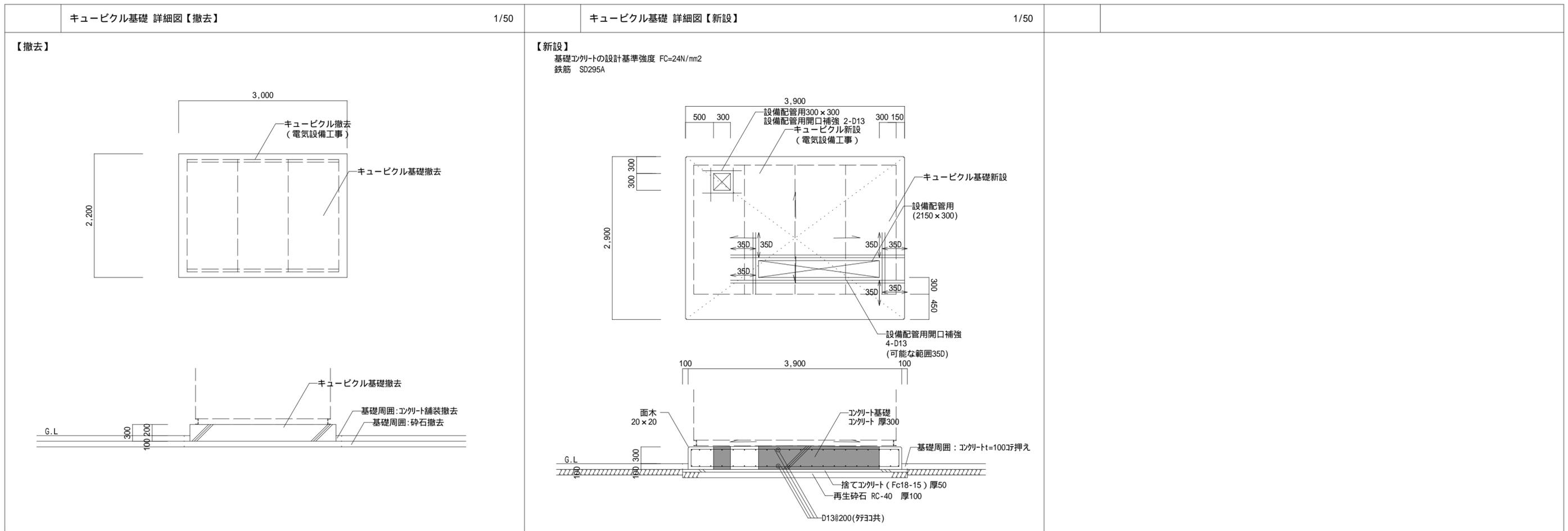
章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																															
① 環境配慮改修工事	<p>3 石綿粉じん濃度測定(9.1.1)</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="5">行う</th> </tr> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th colspan="3">測定点(各施工箇所ごと)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>除去作業前</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調査対象室外部付近</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>点</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">除去作業中</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>集じん・排気装置の出入口</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>集じん・排気装置の出口</td> <td>出口吹出し風速1m/秒以下の位置</td> <td></td> <td></td> <td>除去作業室</td> </tr> <tr> <td>排出口</td> <td>各</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>外の場合</td> </tr> <tr> <td>除去作業後</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>点</td> <td>シート養生中</td> </tr> <tr> <td>除去作業後</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調査対象室外部付近</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>点</td> <td>1週間以降</td> </tr> </table> <p>周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 行わない</p> <p>測定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動測定器による測定 <table border="1"> <tr> <th>測定場所</th> <th>測定方法</th> </tr> <tr> <td>集じん・排気装置の出入口(除去作業室外)</td> <td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、M-フェノール系繊維状粒子自動測定器(リアルタイムモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> JIS K 3850-1に基づいた測定 <table border="1"> <tr> <th>測定場所</th> <th>メッシュ径(mm)</th> <th>試料の吸引流量(L/min)</th> <th>試料の吸引時間(min)</th> </tr> <tr> <td>集じん・排気装置の出入口(除去作業室外)</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td></td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> </table> <p>測定機関 (公社)日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。</p> <p>報告書提出部数 3部 _____部</p> <p>施工業者 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出すること。「吹付石綿粉じん飛散防止処理技術」について(一財)日本建築センターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。</p> <p>除去を行う範囲 図示による(仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認) 全ての室 _____</p> <p>除去工法 改修標仕9.1.3(2)(7)による _____</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 湿潤化 セメント固化 溶融固化</p> <p>除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 石綿等の保管場所であることを表示を行う。</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の処分方法 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融施設)</p>	行う					測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)			備考	除去作業前	除去作業室内	1点	2点	3点	点		調査対象室外部付近	1点	2点	点		除去作業中	除去作業室内	1点	2点	3点	点	集じん・排気装置の出入口	1点	2点	3点	点	集じん・排気装置の出口	出口吹出し風速1m/秒以下の位置			除去作業室	排出口	各	1点	2点	3点	外の場合	除去作業後	除去作業室内	1点	2点	点	シート養生中	除去作業後	除去作業室内	1点	2点	3点	点		調査対象室外部付近	1点	2点	点	1週間以降	測定場所	測定方法	集じん・排気装置の出入口(除去作業室外)	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、M-フェノール系繊維状粒子自動測定器(リアルタイムモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定場所	メッシュ径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)	集じん・排気装置の出入口(除去作業室外)	25	5	30		47	10	120		47	10	240	<p>② 環境配慮改修工事</p> <p>6 石綿含有成形板等の除去(9.1.5)</p> <p>除去を行う範囲 図示による _____</p> <p>除去の方法 湿潤化したのちに手ばらし 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破砕</p> <p>隔離養生(負圧不要)方法 ○ 図示による ○ _____</p> <p>足場 ○ 図示による ○ _____</p> <p>除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分 埋立処分(安定型最終処分場) 中間処理(溶融施設) 石綿含有成形板等(石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の撤去 除去を行う範囲 図示による _____</p> <p>除去した石綿含有成形板等の処分 石綿含有せつこうボード 埋立処分(管理型最終処分場) 石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板等 埋立処分(安定型最終処分場) 中間処理(溶融施設) 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板等(下地調整材)の撤去 除去を行う範囲 図示による _____</p> <p>除去の方法 _____</p> <p>養生の方法 _____</p> <p>除去した石綿含有仕上塗材の処分 埋立処分(安定型最終処分場) 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融施設)</p> <p>除去を行う石綿成形板等の仕様</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>種 類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>化粧石膏ボード</td> <td>9.5</td> <td>石綿ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビニル床タイル</td> <td>2.0</td> <td>石綿スレート(外装・内装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿保温材</td> <td></td> <td>押出成形セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>けいそう土保温材</td> <td></td> <td>化粧石綿セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>塩基性炭酸マグネシウム保温材</td> <td></td> <td>石綿セメントけい酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>けい酸カルシウム保温材</td> <td></td> <td>化粧石綿セメントけい酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>親水性パーライト保温材</td> <td></td> <td>吸音穴あき石綿セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>7 断熱アスファルト防水改修工事 改修特記仕様書第3章による 工法の種類 P1BI M3DI P2AI M4DI P0DI</p> <p>8 外断熱改修工事(9.2.2)~(9.2.4)</p> <p>断熱材 種類 _____ 厚さ(mm) _____</p> <p>断熱材の施工 断熱材製造所の仕様による _____</p> <p>不陸等の下地調整 外装材製造所の仕様による _____</p> <p>外装材 取付ける(種類 _____ 防火性能 _____)</p> <p>外装材の施工 断熱材製造所の仕様による _____</p> <p>既存外壁 仕上げ材の撤去() _____</p> <p>下地面の清掃() _____</p> <p>下地の欠損部の改修(4.1.4[外壁改修工法の種類]による) _____</p> <p>施工 断熱材製造所の仕様による _____</p> <p>通気層 有(厚さ _____ mm) 無 _____</p> <p>建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 _____</p> <p>9 断熱・防露改修工事(9.3.2)(9.3.3)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="3">材 料 (種 類)</th> <th rowspan="2">そ の 他</th> </tr> <tr> <td>打込み工法</td> <td>押出型ポリイソシアヌレートフォーム保温材又は断熱材</td> <td>硬質ポリイソシアヌレートフォーム保温材又は断熱材</td> <td>JIS A 9511 接着剤の放散量 F</td> </tr> <tr> <td>断熱材現場発泡工法</td> <td>A種1 A種1H B種1</td> <td></td> <td>JIS A 9526</td> <td>吹付け厚さ _____ mm</td> </tr> </table> <p>接着剤の放散量はG-1揮発性有機化合物に記載のとおりとする 特定フロンを使用とする。</p>	種 類	厚さ(mm)	種 類	厚さ(mm)	化粧石膏ボード	9.5	石綿ロックウール		ビニル床タイル	2.0	石綿スレート(外装・内装)		石綿保温材		押出成形セメント板		けいそう土保温材		化粧石綿セメント板		塩基性炭酸マグネシウム保温材		石綿セメントけい酸カルシウム板		けい酸カルシウム保温材		化粧石綿セメントけい酸カルシウム板		親水性パーライト保温材		吸音穴あき石綿セメント板		繊維混入けい酸カルシウム板				断熱材	材 料 (種 類)			そ の 他	打込み工法	押出型ポリイソシアヌレートフォーム保温材又は断熱材	硬質ポリイソシアヌレートフォーム保温材又は断熱材	JIS A 9511 接着剤の放散量 F	断熱材現場発泡工法	A種1 A種1H B種1		JIS A 9526	吹付け厚さ _____ mm	<p>② 環境配慮改修工事</p> <p>10 屋上緑化(9.4.2)~(9.4.4)</p> <p>樹木の種類、寸法、数量等 図示による 下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>芝・地被類の種類 図示による</p> <p>コウライシバ(目地張り _____)</p> <p>ノシバ(目地張り _____)</p> <p>セダム類(カット ふるい プラグ苗 _____)</p> <p>材料 見切材 _____ 舗装材 _____</p> <p>排水孔 _____ 排水材 _____</p> <p>かん水装置 設置する(種類 _____) 設置しない _____</p> <p>支柱材 杉(焼き丸太) 竹 ひのき から松(皮はぎ) 形式 図示による _____ 防風処理方法 加圧式防風処理丸太 _____</p> <p>幹巻用材料 幹巻き用テープ わら及びこも _____</p> <p>既存保護層の撤去 行う(工法は3.2.3[既存保護層等の撤去]による) 行わない _____</p> <p>新植芝及び地被類の枯補償 引渡しの日から1年 引渡しの日から _____年</p> <p>11 透水性アスファルト舗装改修工事(9.5.2)~(9.5.5)(9.5.9)</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 図示による _____</p> <p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th colspan="3">材 料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">盛土</td> <td>A種</td> <td>B種</td> <td>C種</td> <td rowspan="2">図示</td> </tr> <tr> <td colspan="3">D種</td> </tr> <tr> <td>凍上抑制層</td> <td>再生クラッシュランG</td> <td>クラッシュラン</td> <td>切込み砂利</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>フィルター層</td> <td>砂</td> <td></td> <td></td> <td>図示</td> </tr> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) 行う 行わない _____</p> <p>路床安定処理 適用する 適用しない _____</p> <p>路床安定処理の方法 置き換え工法 安定処理工法 _____</p> <p>路床安定処理用添加材料 種類 普通ポルトランドセメント 高炉セメントB種</p> <p>フライアッシュセメントB種</p> <p>生石灰(特号 1号) 消石灰(特号 1号)</p> <p>添加量 _____kg(目標CBR 3以上 _____)</p> <p>目標CBRを満足する添加量の確認方法 安定処理土のCBR試験</p> <p>ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m以上 _____</p> <p>厚さ(mm) 0.5~1.0 _____</p> <p>引張強さ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 _____</p> <p>透水係数 1.5×10cm/sec以上 _____</p> <p>試験 路床土の支持力比(CBR)試験 行う 行わない _____</p> <p>現場CBR試験 行う 行わない _____</p> <p>路床締固め度試験 行う 行わない _____</p>	種 類	寸 法	数 量	備 考					種別	材 料			厚さ(mm)	盛土	A種	B種	C種	図示	D種			凍上抑制層	再生クラッシュランG	クラッシュラン	切込み砂利	図示	フィルター層	砂			図示	<p>路盤</p> <p>路盤の厚さ 図示</p> <p>路盤材料</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">種類別</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">砕石</td> <td>クラッシュラン</td> </tr> <tr> <td>粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">再生材</td> <td>再生クラッシュラン</td> </tr> <tr> <td>再生粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td colspan="2">クラッシュラン鉄鋼スラグ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">粒度調整鉄鋼スラグ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</td> </tr> </table> <p>舗装の構成 図示による 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない _____</p> <p>舗装の平たん性 著しい不陸がないもの _____</p>	種類別		砕石	クラッシュラン	粒度調整砕石	再生材	再生クラッシュラン	再生粒度調整砕石	クラッシュラン鉄鋼スラグ		粒度調整鉄鋼スラグ		水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	
	行う																																																																																																																																																																																					
測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)			備考																																																																																																																																																																																	
除去作業前	除去作業室内	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																																	
	調査対象室外部付近	1点	2点	点																																																																																																																																																																																		
除去作業中	除去作業室内	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																																	
	集じん・排気装置の出入口	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																																	
	集じん・排気装置の出口	出口吹出し風速1m/秒以下の位置			除去作業室																																																																																																																																																																																	
	排出口	各	1点	2点	3点	外の場合																																																																																																																																																																																
除去作業後	除去作業室内	1点	2点	点	シート養生中																																																																																																																																																																																	
除去作業後	除去作業室内	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																																	
	調査対象室外部付近	1点	2点	点	1週間以降																																																																																																																																																																																	
測定場所	測定方法																																																																																																																																																																																					
集じん・排気装置の出入口(除去作業室外)	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、M-フェノール系繊維状粒子自動測定器(リアルタイムモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																																																					
測定場所	メッシュ径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)																																																																																																																																																																																			
集じん・排気装置の出入口(除去作業室外)	25	5	30																																																																																																																																																																																			
	47	10	120																																																																																																																																																																																			
	47	10	240																																																																																																																																																																																			
種 類	厚さ(mm)	種 類	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																			
化粧石膏ボード	9.5	石綿ロックウール																																																																																																																																																																																				
ビニル床タイル	2.0	石綿スレート(外装・内装)																																																																																																																																																																																				
石綿保温材		押出成形セメント板																																																																																																																																																																																				
けいそう土保温材		化粧石綿セメント板																																																																																																																																																																																				
塩基性炭酸マグネシウム保温材		石綿セメントけい酸カルシウム板																																																																																																																																																																																				
けい酸カルシウム保温材		化粧石綿セメントけい酸カルシウム板																																																																																																																																																																																				
親水性パーライト保温材		吸音穴あき石綿セメント板																																																																																																																																																																																				
繊維混入けい酸カルシウム板																																																																																																																																																																																						
断熱材	材 料 (種 類)			そ の 他																																																																																																																																																																																		
	打込み工法	押出型ポリイソシアヌレートフォーム保温材又は断熱材	硬質ポリイソシアヌレートフォーム保温材又は断熱材		JIS A 9511 接着剤の放散量 F																																																																																																																																																																																	
断熱材現場発泡工法	A種1 A種1H B種1		JIS A 9526	吹付け厚さ _____ mm																																																																																																																																																																																		
種 類	寸 法	数 量	備 考																																																																																																																																																																																			
種別	材 料			厚さ(mm)																																																																																																																																																																																		
盛土	A種	B種	C種	図示																																																																																																																																																																																		
	D種																																																																																																																																																																																					
凍上抑制層	再生クラッシュランG	クラッシュラン	切込み砂利	図示																																																																																																																																																																																		
フィルター層	砂			図示																																																																																																																																																																																		
種類別																																																																																																																																																																																						
砕石	クラッシュラン																																																																																																																																																																																					
	粒度調整砕石																																																																																																																																																																																					
再生材	再生クラッシュラン																																																																																																																																																																																					
	再生粒度調整砕石																																																																																																																																																																																					
クラッシュラン鉄鋼スラグ																																																																																																																																																																																						
粒度調整鉄鋼スラグ																																																																																																																																																																																						
水硬性粒度調整鉄鋼スラグ																																																																																																																																																																																						
② 環境配慮改修工事	<p>4 石綿含有吹付け材の除去(9.1.3)</p> <p>除去を行う範囲 図示による(仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認) 全ての室 _____</p> <p>除去工法 改修標仕9.1.3(2)(7)による _____</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 湿潤化 セメント固化 溶融固化</p> <p>除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 石綿等の保管場所であることを表示を行う。</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の処分方法 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融施設)</p> <p>5 石綿含有保温材等の除去(9.1.4)</p> <p>除去を行う範囲 図示による _____</p> <p>除去方法 原形のまま手ばらし 手ばらし以外(この場合は改修標仕9.1.3(1)による隔離とする) _____</p> <p>除去した石綿含有保温材等(石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む)の処分 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融施設)</p>	<p>7 断熱アスファルト防水改修工事 改修特記仕様書第3章による 工法の種類 P1BI M3DI P2AI M4DI P0DI</p> <p>8 外断熱改修工事(9.2.2)~(9.2.4)</p> <p>断熱材 種類 _____ 厚さ(mm) _____</p> <p>断熱材の施工 断熱材製造所の仕様による _____</p> <p>不陸等の下地調整 外装材製造所の仕様による _____</p> <p>外装材 取付ける(種類 _____ 防火性能 _____)</p> <p>外装材の施工 断熱材製造所の仕様による _____</p> <p>既存外壁 仕上げ材の撤去() _____</p> <p>下地面の清掃() _____</p> <p>下地の欠損部の改修(4.1.4[外壁改修工法の種類]による) _____</p> <p>9 断熱・防露改修工事(9.3.2)(9.3.3)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="3">材 料 (種 類)</th> <th rowspan="2">そ の 他</th> </tr> <tr> <td>打込み工法</td> <td>押出型ポリイソシアヌレートフォーム保温材又は断熱材</td> <td>硬質ポリイソシアヌレートフォーム保温材又は断熱材</td> <td>JIS A 9511 接着剤の放散量 F</td> </tr> <tr> <td>断熱材現場発泡工法</td> <td>A種1 A種1H B種1</td> <td></td> <td>JIS A 9526</td> <td>吹付け厚さ _____ mm</td> </tr> </table> <p>接着剤の放散量はG-1揮発性有機化合物に記載のとおりとする 特定フロンを使用とする。</p>	断熱材	材 料 (種 類)			そ の 他	打込み工法	押出型ポリイソシアヌレートフォーム保温材又は断熱材	硬質ポリイソシアヌレートフォーム保温材又は断熱材	JIS A 9511 接着剤の放散量 F	断熱材現場発泡工法	A種1 A種1H B種1		JIS A 9526	吹付け厚さ _____ mm	<p>10 屋上緑化(9.4.2)~(9.4.4)</p> <p>樹木の種類、寸法、数量等 図示による 下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>芝・地被類の種類 図示による</p> <p>コウライシバ(目地張り _____)</p> <p>ノシバ(目地張り _____)</p> <p>セダム類(カット ふるい プラグ苗 _____)</p> <p>材料 見切材 _____ 舗装材 _____</p> <p>排水孔 _____ 排水材 _____</p> <p>かん水装置 設置する(種類 _____) 設置しない _____</p> <p>支柱材 杉(焼き丸太) 竹 ひのき から松(皮はぎ) 形式 図示による _____ 防風処理方法 加圧式防風処理丸太 _____</p> <p>幹巻用材料 幹巻き用テープ わら及びこも _____</p> <p>既存保護層の撤去 行う(工法は3.2.3[既存保護層等の撤去]による) 行わない _____</p> <p>新植芝及び地被類の枯補償 引渡しの日から1年 引渡しの日から _____年</p> <p>11 透水性アスファルト舗装改修工事(9.5.2)~(9.5.5)(9.5.9)</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 図示による _____</p> <p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th colspan="3">材 料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">盛土</td> <td>A種</td> <td>B種</td> <td>C種</td> <td rowspan="2">図示</td> </tr> <tr> <td colspan="3">D種</td> </tr> <tr> <td>凍上抑制層</td> <td>再生クラッシュランG</td> <td>クラッシュラン</td> <td>切込み砂利</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>フィルター層</td> <td>砂</td> <td></td> <td></td> <td>図示</td> </tr> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) 行う 行わない _____</p> <p>路床安定処理 適用する 適用しない _____</p> <p>路床安定処理の方法 置き換え工法 安定処理工法 _____</p> <p>路床安定処理用添加材料 種類 普通ポルトランドセメント 高炉セメントB種</p> <p>フライアッシュセメントB種</p> <p>生石灰(特号 1号) 消石灰(特号 1号)</p> <p>添加量 _____kg(目標CBR 3以上 _____)</p> <p>目標CBRを満足する添加量の確認方法 安定処理土のCBR試験</p> <p>ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m以上 _____</p> <p>厚さ(mm) 0.5~1.0 _____</p> <p>引張強さ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 _____</p> <p>透水係数 1.5×10cm/sec以上 _____</p> <p>試験 路床土の支持力比(CBR)試験 行う 行わない _____</p> <p>現場CBR試験 行う 行わない _____</p> <p>路床締固め度試験 行う 行わない _____</p>	種 類	寸 法	数 量	備 考					種別	材 料			厚さ(mm)	盛土	A種	B種	C種	図示	D種			凍上抑制層	再生クラッシュランG	クラッシュラン	切込み砂利	図示	フィルター層	砂			図示	<p>路盤</p> <p>路盤の厚さ 図示</p> <p>路盤材料</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">種類別</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">砕石</td> <td>クラッシュラン</td> </tr> <tr> <td>粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">再生材</td> <td>再生クラッシュラン</td> </tr> <tr> <td>再生粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td colspan="2">クラッシュラン鉄鋼スラグ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">粒度調整鉄鋼スラグ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</td> </tr> </table> <p>舗装の構成 図示による 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない _____</p> <p>舗装の平たん性 著しい不陸がないもの _____</p>	種類別		砕石	クラッシュラン	粒度調整砕石	再生材	再生クラッシュラン	再生粒度調整砕石	クラッシュラン鉄鋼スラグ		粒度調整鉄鋼スラグ		水硬性粒度調整鉄鋼スラグ																																																																																																																								
断熱材	材 料 (種 類)			そ の 他																																																																																																																																																																																		
	打込み工法	押出型ポリイソシアヌレートフォーム保温材又は断熱材	硬質ポリイソシアヌレートフォーム保温材又は断熱材		JIS A 9511 接着剤の放散量 F																																																																																																																																																																																	
断熱材現場発泡工法	A種1 A種1H B種1		JIS A 9526	吹付け厚さ _____ mm																																																																																																																																																																																		
種 類	寸 法	数 量	備 考																																																																																																																																																																																			
種別	材 料			厚さ(mm)																																																																																																																																																																																		
盛土	A種	B種	C種	図示																																																																																																																																																																																		
	D種																																																																																																																																																																																					
凍上抑制層	再生クラッシュランG	クラッシュラン	切込み砂利	図示																																																																																																																																																																																		
フィルター層	砂			図示																																																																																																																																																																																		
種類別																																																																																																																																																																																						
砕石	クラッシュラン																																																																																																																																																																																					
	粒度調整砕石																																																																																																																																																																																					
再生材	再生クラッシュラン																																																																																																																																																																																					
	再生粒度調整砕石																																																																																																																																																																																					
クラッシュラン鉄鋼スラグ																																																																																																																																																																																						
粒度調整鉄鋼スラグ																																																																																																																																																																																						
水硬性粒度調整鉄鋼スラグ																																																																																																																																																																																						
記 事			<p>株式会社 前田都市設計</p> <p>一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎</p>	<p>校閲</p> <p>主査</p> <p>校閲 担当 担当 担当 担当</p>	<p>工事名称 宇治市総合福祉会館キュービクル改修工事</p> <p>図面名称 建築改修工事特記仕様書5</p>	<p>作成年月日 R06.03</p> <p>縮 尺 -</p>	<p>図面番号 A - 05</p>																																																																																																																																																																															



記 事		株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館キュービクル改修工事	作成年月日 R06.03	図面番号 A - 0 6
			担当 担当	担当 担当		図面名称 外構図 (改修)	



記 事		株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館キュービクル改修工事	作成年月日 R06.03	図面番号 A - 07
			担当	担当		担当	
					図面名称	外構図(撤去)	



記 事	MAEDA	株式会社 前田都市設計 一級建築士大臣登録 第174018号 前田 陽一郎	校閲	主査	工事名称 宇治市総合福祉会館キュービクル改修工事	作成年月日 R06.03	図面番号 A - 08
			担当	担当		担当	
					図面名称 外構各部詳細図		